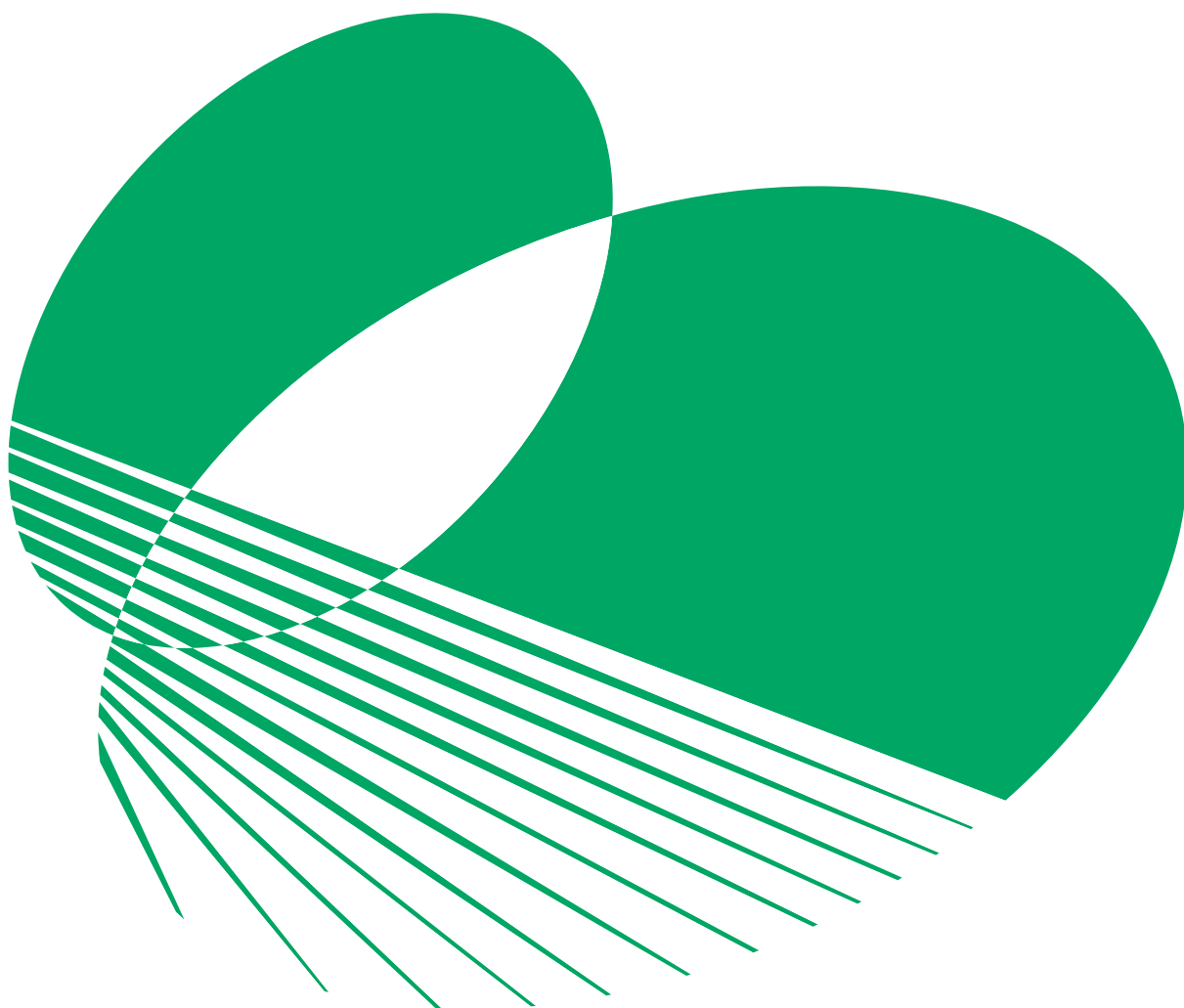


要

覧

令和5年度

(2023年度)



公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会

目 次

第 1 団体の概要

I 設立の目的	1
II 沿革	1
III 役員等名簿	8

第 2 組織

I 組織	10
II 事務分掌	11

第 3 令和 5 年度事業計画及び収支予算

I 事業計画	12
II 収支予算	30

第 4 令和 4 年度事業報告及び収支決算

I 事業報告	32
II 収支決算	57

〔参考資料〕

I 加盟団体一覧	71
II 名古屋市のスポーツ施設等一覧	72
III 学校開放事業一覧	76
IV 施設利用状況	80

※事業計画、事業報告については理事会で承認されたものに一部追記等を行っています。

第 1 団体の概要

I 設立の目的

市民が自分の適性と健康状態にあわせて、いつでも、どこでも自分からすすんでスポーツに親しみ、そのことを通して、明るく豊かな市民生活が送れるような諸条件を整備するため、名古屋市スポーツ振興計画（レインボープラン）が昭和 57 年 10 月に策定された。

この計画に沿って、柔軟で効率的なスポーツ施設の管理運営や事業の拡充を行えるよう、行政機関や関係団体等と緊密な連絡をとりつつ、より広い市民参加と民間活力の導入を図れる団体として当財団が設立された。

II 沿革

昭和 56 年 9 月 市民スポーツの振興策についての市の諮問に対し、名古屋市市民スポーツ振興会議から、答申書「市民スポーツ振興計画策定に関する中間報告書」が提出された。この中で、「公共スポーツ施設の管理運営委託は、経済的な面や専門能力活用の面から全国的に実施されており、現在の直営方式では、多様化かつ専門化した市民需要には十分応えられないので、各施設の固有機能、規模等を勘案し、市民サービスの立場からそれぞれの施設に応じた適切な委託方式を決定すべきである。」と提言を受ける。

前記「レインボープラン」で、「施設の維持管理や事業の実施などについて、その機能と経済性を十分発揮できるよう検討し、市民の利便性と施設の利用効率を高め、施設の情報を市民に提供できるよう努める。」ことなどがうたわれている。

担当部内で、前記答申や市民要望をふまえ、財団法人設立のための予算要求と関係者への調整を開始する。

昭和 58 年 3 月 昭和 58 年度当初予算議案が可決され、スポーツ施設の管理委託のため関係条例を改正

4 月 財団設立準備事務担当者 3 名（局付部長、主幹、主査各 1 名）を発令

8 月 設立準備会を開催し、役員予定者、寄付行為、昭和 58 年度事業計画及び収支予算を決定

10 月 愛知県教育委員会から財団法人名古屋市スポーツ振興事業団の設立許可。役員（理事 15 名、監事 2 名）を委嘱し、職員（職員 30 名、管理員 87 名）を発令。理事会を開催し、組織規程等、諸規程を決定

市体育館、露橋スポーツセンター、鳴海プール、名城庭球場、勤労青年レクリエーションセンター（15 センター）・地域スポーツセンター（53 センター）の受託管理を開始

昭和 58 年 11 月 スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

昭和 59 年 4 月 瑞穂運動場及び瑞穂プール（練習プールを除く）の受託管理を開始

5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始

- 昭和 59 年 10 月 設立 1 周年記念行事「スポーツ講演会」を開催
「ライブリー名古屋ストレッチング」を名古屋市及び名古屋市教育委員会と共同で制作
- 昭和 60 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 9 センター）の受託管理を開始
6 月 南陽プールの受託管理を開始
7 月 志段味スポーツランドの受託管理を開始
- 昭和 61 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始
- 昭和 62 年 4 月 枇杷島スポーツセンターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 3 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（8 センター）が地域スポーツセンターへ移行
7 月 総合体育館の受託管理を開始
- 昭和 63 年 4 月 武豊野外活動センターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（7 センター）が地域スポーツセンターへ移行。これにより地域スポーツセンターへの一元化完了
- 平成 元年 6 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
7 月 稲永スポーツセンターの受託管理を開始
11 月 富田北プールの受託管理を開始
- 平成 2 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 天白スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 3 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
10 月 事務局を瑞穂プール内より中央高校跡へ移転
- 平成 4 年 4 月 総合体育館レインボープールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 緑スポーツセンター、北スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 5 年 4 月 山田西プールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
9 月 港サッカー場の受託管理を開始
10 月 設立 10 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念イベントとして「ときめきスポーツフェスタ' 93」を開催
11 月 事務局を中央高校跡から総合体育館宿泊研修棟へ移転
- 平成 6 年 2 月 事務局を宿泊研修棟からスポーツ振興会館へ移転
設立 10 周年記念イベントとして「NSPA 招待サッカー大会」を開催
4 月 香流橋プールの受託管理を開始
スポーツ振興会館開館
7 月 中村スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 9 年 7 月 熱田プールの受託管理を開始
9 月 黒川スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

- 平成 9 年 10 月 名東スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 10 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（名称、目的及び事業）の変更を議決
- 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 4 月 新たに教育の振興に資する事業を行うことを目的に加え、名称を財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団へ変更
学校施設の開放事業の受託開始〔一般開放事業、スポーツ及び学習開放事業（市民教養ルーム）、名東高等学校学習開放事業、遊び場開放事業及びトワイライトスクール事業の新たな受託、地域スポーツセンターのスポーツ開放事業への移行〕
野外教育活動に係る事業の受託開始
- 6 月 上社レクリエーションルームの受託管理を開始
- 7 月 楠プール及び千種スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 11 年 3 月 遊び場開放事業の受託を終了
- 5 月 理事会を開催し、寄付行為（評議員及び評議員会の設置）の変更を議決
- 9 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 10 月 評議員及び評議員会の設置
- 平成 12 年 7 月 山田プールの受託管理を開始
- 平成 13 年 7 月 富田プール及び中スポーツセンターの受託管理を開始
- 10 月 東スポーツセンター（一部）の受託管理を開始
- 11 月 スポーツトレーニングセンター閉所に伴い受託管理を終了
- 平成 14 年 2 月 昭和スポーツセンターの受託管理を開始
- 11 月 東スポーツセンター（全館）の受託管理を開始
- 平成 15 年 3 月 経営改善計画を策定
- 7 月 名東プールの受託管理を開始
- 9 月 中長期計画を策定
- 10 月 設立 20 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念事業として〔スポーツ交流大会〕の開催、「NESPA ストレッチングビデオ」の制作などを実施
- 11 月 設立 20 周年記念事業として「トワイライトスクール交流会」を開催
- 平成 16 年 3 月 市民教養ルーム及び名東高等学校学習開放事業の受託を終了
- 4 月 総合体育館に利用料金制度導入
- 平成 17 年 3 月 楠プール、山田プール、熱田プール、富田プール及び名東プールの受託管理を終了
- 4 月 指定管理者として振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理を開始
名古屋共同福祉施設の解散に伴い、総合体育館の一施設としてサンホール（サン笠寺）の受託管理を開始
学校体育センター管理運営事業の受託開始
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を開始

- 平成 18 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業、資産及び会計、役員等）の変更を議決
- 平成 18 年 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者制度への移行に伴い、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、昭和スポーツセンター、志段味スポーツランド、鳴海プール、香流橋プール、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場、上社レクリエーションルーム及び港サッカー場の受託管理を終了
- 平成 18 年 4 月 財団法人名古屋市学校給食協会と統合。学校給食に係る事業を行うことを目的に加え、事業を開始
指定管理者として、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 19 年 3 月 新経営改善計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理が終了
学校施設の開放事業のうち、一般開放事業の受託を終了
- 平成 19 年 4 月 指定管理者として、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理を開始
ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称が日本ガイシスポーツプラザに変更
- 平成 20 年 3 月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、市体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 平成 20 年 4 月 指定管理者として、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 21 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業）の変更を議決
- 平成 21 年 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理が終了
- 平成 21 年 4 月 指定管理者として、青少年宿泊センター、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理を開始
放課後子どもプランモデル事業の受託開始

- 平成21年 12月 理事会を開催し、財団法人名古屋市体育協会との合併及びこれに伴う寄付行為（目的及び事業等）の変更を議決
- 平成22年 1月 愛知県教育委員会から合併及び寄付行為変更認可
- 平成22年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、緑スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
地域スポーツセンターの受託管理及びスポーツ情報センターの運営業務を終了
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を終了
- 平成22年 4月 財団法人名古屋市体育協会と合併。名称を財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更し、アマチュアスポーツの普及促進に係る事業を開始
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理を開始
トワイライトスクール事業の運営主体が公募制となり、運営校数が256校となる。
地域スポーツセンターの学校調整及びモニタリング等業務を開始
- 平成23年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理が終了
- 平成23年 4月 経営戦略計画を策定
指定管理者として、熱田プール及び楠プールの管理を開始
- 平成24年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 平成24年 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が1校増の257校となる。
- 平成24年 6月 トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が3校増の260校となる。
- 平成25年 3月 愛知県知事から公益財団法人として認定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年宿泊センター、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 平成25年 4月 公益財団法人へ移行し、名称を公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更
指定管理者として、青少年宿泊センター、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理を開始
スポーツ情報センターの運営業務を開始
公募により、トワイライトスクールが248校、トワイライトルームが14校の運営校数となる。
- 平成25年 10月 設立30周年。記念事業として、「NESPA ストレッチング2 DVD」及び「温水プール・トレーニング室ガイド」の制作などを実施

- 平成25年 11月 設立 30 周年記念事業としてスポーティブ・ライフ月間エンディング・イベントにおいて「やろまい ストレッチ&ラジオ体操」などの各種記念事業を実施
- 平成26年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
- 平成26年 4月 第2次経営戦略計画を策定
愛知県から公益変更認定を受け、定款を一部変更
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、青少年交流プラザ、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募により、トワイライトスクールが219校、トワイライトルームが24校の運営校数となる。
地域スポーツセンター運営指導等業務の受託開始
- 平成27年 4月 ネーミングライツ（命名権）の導入により、瑞穂運動場の愛称がパロマ瑞穂スポーツパークに変更
小学校の統合による運営校数の1校減少及びトワイライトルーム事業へ4校移行したことにより、トワイライトスクール214校、トワイライトルーム28校の運営校数となる。
- 平成28年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 平成28年 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、富田プール、楠プール、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始
トワイライトルーム事業へ8校移行したことにより、トワイライトスクール206校、トワイライトルーム36校の運営校数となる。
- 平成29年 3月 第3次経営戦略計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センターの管理が終了
地域スポーツセンター運営指導業務の受託が終了
- 平成29年 4月 指定管理者として、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センター（青少年交流プラザ分館）の管理を開始
公募によりトワイライトスクールが204校、トワイライトルーム41校の運営校数となる。
- 平成30年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理が終了

- 平成30年 4月 指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、山田プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 206 校、トワイライトルーム 46 校の運営校数となる。
- 平成31年 3月 学校体育センター管理運営事業の受託終了
- 平成31年 4月 公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
- 令和 2年 3月 第4次経営戦略計画を策定
指定管理者として、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理が終了
- 令和 2年 4月 指定管理者として、千種生涯学習センター、西生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
- 令和 3年 4月 公募によりトワイライトスクールが 204 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。
- 令和 3年 6月 指定管理者として、瑞穂公園体育館の管理を開始
- 令和 4年 4月 公募によりトワイライトスクールが 202 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。
- 令和 5年 3月 第5次経営戦略計画を策定
指定管理者として、総合体育館、瑞穂運動場、瑞穂公園体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、港サッカー場、南陽プール、港プール、富田プール、楠プール、黒川スポーツトレーニングセンター、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センター（青少年交流プラザ分館）、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理が終了
- 令和 5年 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、中スポーツセンター、港サッカー場、南陽プール、港プール、富田プール、楠プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募によりトワイライトスクールが 201 校、トワイライトルーム 49 校の運営校数となる。

Ⅲ 役員等名簿

令和5年7月1日現在

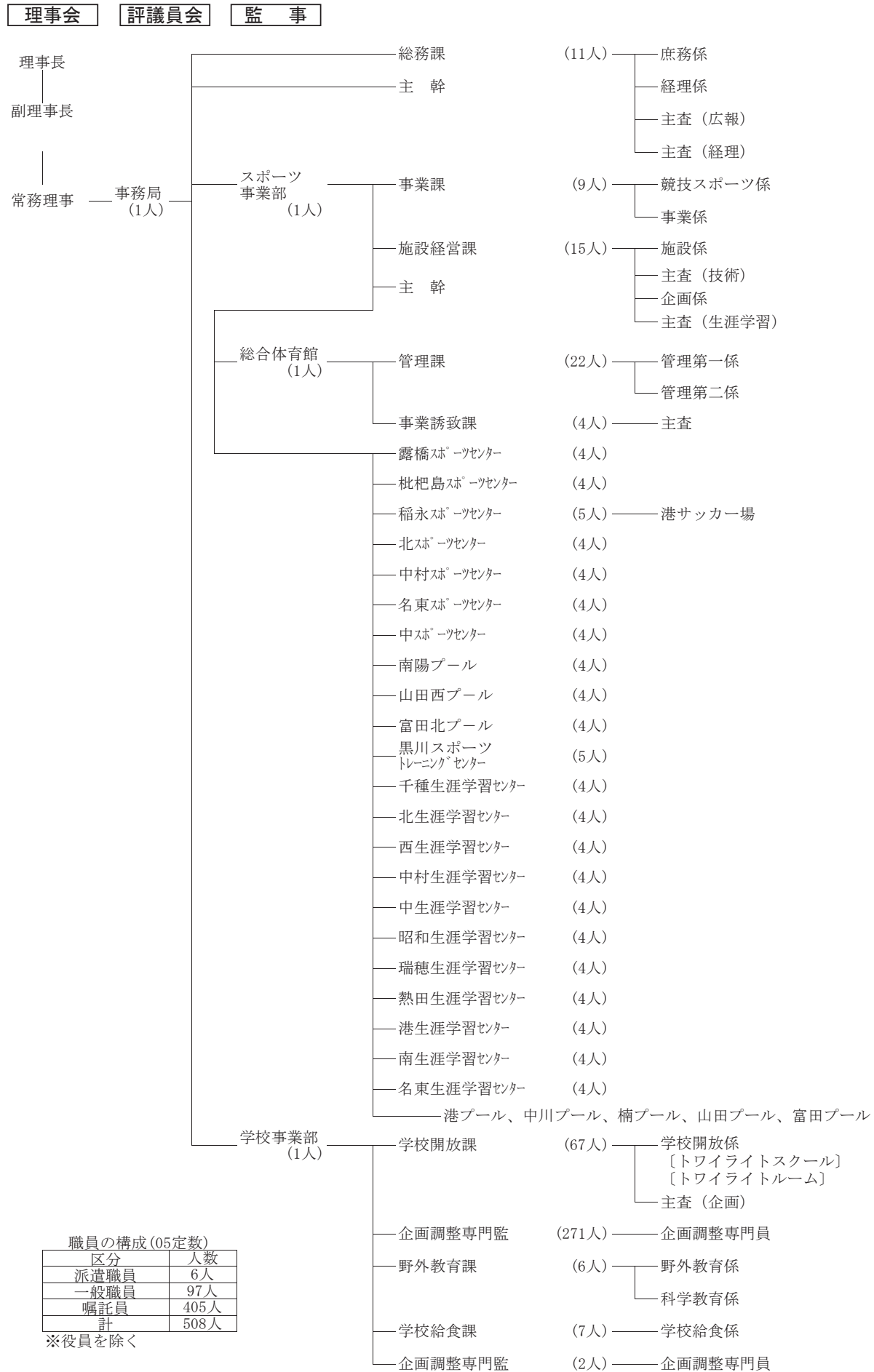
役 職 名	氏 名	役 職
理 事 長	河 野 和 彦	—
副理事長	後 藤 泰 之	名古屋市体育協会会長
常務理事	福 田 豊	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会事務局長
理 事	渡 辺 佐知子	名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長
	若 松 文 彦	名古屋市バレーボール協会会長
	箕輪田 晃	名古屋市水泳連盟名誉顧問
	尾 野 博 之	名古屋市剣道連盟理事長
	大 橋 一 之	名古屋市瑞穂区体育協会会長
	中 嶋 幸 吉	名古屋市中村区体育協会会長
	中 野 幸 夫	名古屋市区政協力委員議長協議会副議長
	小 林 義 雄	名古屋市レクリエーション協会会長
	増 田 正	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会会長
	下 方 丈 司	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会副会長
	中 路 恭 平	南山大学教授
	小 杉 裕 子	椋山女学園大学教授
	二 村 高 博	名古屋市ソフトボール協会理事長
	久 野 千嘉子	名古屋市スケート協会理事長
	坪 田 知 広	名古屋市教育長
	鳥 羽 義 人	名古屋市スポーツ市民局長
	鈴 木 健	名古屋市立丸の内中学校長
	河 上 賢 太	名古屋市立大森中学校教諭
監 事	竹 腰 正 見	名古屋青年会議所理事長
	名 和 浩 一	—

役 職 名	氏 名	役 職
評 議 員	森 達 郎	名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会会長
	塚 原 博 臣	名古屋市スキー協会会長
	山 田 桂 子	名古屋市ドッジボール協会理事
	松 永 裕 和	名古屋市相撲連盟副会長
	青 木 実	名古屋市陸上競技協会会長
	青 山 英 立	名古屋市バスケットボール協会理事長
	弓 矢 恭 代	名古屋市バトン協会副理事長
	近 藤 賢 治	天白区体育協会会長
	林 佐智子	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会副会長
	淀 川 悦 子	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会女性代表
	小 川 智 樹	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団スポーツ振興部長
	早 瀬 和 利	愛知教育大学名誉教授
	菊 池 秀 夫	中京大学教授
	山 本 彩 未	中部大学講師
	大 西 謙 一	名古屋市体操協会理事長
	石 原 治	名古屋市スポーツ市民局スポーツ推進部長
	枘 田 勝	名古屋市教育委員会事務局指導部長
	藤 本 一 人	名古屋市立前津中学校長
	水 野 基 行	名古屋市立菊里高等学校長
	船 越 一 裕	名古屋市立北高等学校長
	原 宏 介	名古屋市立小碓小学校教諭

第2 組 織

I 組織

令和5年7月1日現在



Ⅱ 事務分掌

i 事務局

令和5年7月1日現在

〒457-0833 名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の16（スポーツ振興会館内）				
	課 名	係 名	主な業務	TEL・FAX
	総 務 課	庶 務 係	1 理事会・評議員会 2 人事・給与・福利厚生・労働災害 3 職員研修 4 文書・公印 5 定款・諸規程の制定改廃 6 資産の出納保管 7 事業計画 8 官公庁その他外部との連絡調整 9 スポーツ振興会館の管理 10 広報 11 他部、課、係、事務所の所管に属さないこと	TEL (052) 614-7501 FAX (052) 614-7525
		経 理 係	1 予算・決算 2 予算配当 3 予算執行の総合調整 4 経営に係る企画及び調整	TEL (052) 614-7502 FAX (052) 614-7525
	事 業 課	競 技 スポーツ係	1 アマチュアスポーツの普及振興事業 2 スポーツ功労者の表彰 3 加盟団体及び賛助会員 4 スポーツ大会等の開催及び協力（他係の所管に属さないもの）	TEL (052) 614-7100 FAX (052) 614-7149
		事 業 係	1 スポーツ・レクリエーションの普及振興事業の企画及び実施 2 スポーツ・レクリエーション事業に伴う名古屋市及びスポーツ・レクリエーション団体との調整 3 体育施設等の情報提供事業 4 スポーツ資料展示室の企画運営	TEL (052) 614-7504 FAX (052) 614-7149
	施設経営課	施 設 係	1 体育施設等の指定管理業務（他係の所管に属さないもの） 2 スポーツ・レクリエーション情報システムの管理運営 3 スポーツ情報センター・スポーツ資料展示室の管理 4 施設の保全管理・施設との連絡調整 5 部内他課、係、事務所の所管に属さないこと	TEL (052) 614-7519 FAX (052) 614-7525
		企 画 係	1 体育施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整 2 生涯学習施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整	TEL (052) 614-7532 FAX (052) 614-7525
	学校開放課	学校開放係	1 トワイライトスクール事業、トワイライトルーム事業、学校施設の開放事業 2 部内他課の所管に属さないこと	TEL (052) 614-7506 FAX (052) 614-7530
	野外教育課	野外教育係	1 野外教育事業 2 他係の所管に属さないこと	TEL (052) 614-5143 FAX (052) 614-7524
		科学教育係	1 科学教育事業	
〒456-0072 名古屋市熱田区川並町2番22号（中央卸売市場内）				
	学校給食課	学校給食係	1 学校給食用物資の調達及び普及・奨励等	TEL (052) 671-1146 FAX (052) 671-6893

ii 施設

名古屋市のスポーツ施設等一覧（72～75 ページ参照）			
各事務所		1 施設の利用受付・許可 2 施設の利用に関する利用料金等徴収・還付 3 施設の保全管理 4 施設の利用促進・利用統計 5 事務所の所掌する文書・公印 6 事務所の所掌する経理 7 事務所の所掌する物品・資産の出納保管	

第3 令和5年度事業計画及び収支予算

I 事業計画

当協会は、昭和58年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してまいりました。その後平成10年4月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始するとともに、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」と改めました。また、平成18年4月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えました。平成22年4月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、さらに幅広い事業を展開しているところです。平成25年4月からは公益財団法人に移行し、「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更し、今年で設立40周年を迎えます。

令和5年度は、指定管理施設29施設（スポーツ施設18施設、生涯学習センター11施設）の管理運営事業をはじめ、スポーツ振興等に関する事業、受託するトワイライトスクール・ルーム250校の管理運営等の学校開放事業、野外教育事業、学校給食事業に取り組みます。

各事業では、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き十分に講じた上で事業運営を行うほか、2026年に愛知・名古屋で開催される第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向け、市民の機運醸成を図る取り組みなどを進めていきます。

令和5年度は「第5次経営戦略計画」（計画期間：令和5年度～7年度）の初年度となることから、計画に定める経営戦略方針に基づき、より一層の経営改善に取り組み、数値目標の達成に努めます。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、引き続き様々な取り組みを進めていきます。

（経営戦略方針）

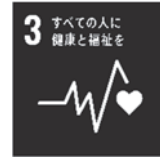
- 公益財団法人としての公益性を維持しながら、安心・安全な事業運営を行い、「スポーツ」と「教育」の振興を促進する。
- 指定管理者制度の導入等による民間企業との競争の中、コスト削減や自主財源の確保・拡充による収益性の向上を図り、財務体質を強化する。
- 市民ニーズに基づき、スポーツを通じた市民の体力づくり、トワイライトスクール・ルームを通じた子育て支援、生涯を通じた学習活動の支援などを他の機関や地域と連携・協働して推進する。
- 職員の資質向上を図るとともに、地域に貢献できる事業の実施を通じて、地域人材の活用と地域との連携を推進する。

以上の方針のもと、協会のこれまで培ってきたノウハウと職員の能力を十二分に活用して、次に掲げる事業を実施します。

記

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり
 - 3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供
 - 5 スポーツ功労者の表彰
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化
 - 7 体育施設等の管理運営
 - 8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進
- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び名古屋市における競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成・資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行う。

(2) 名古屋スポーツ未来育成支援事業

アジア競技大会・アジアパラ競技大会をはじめとした大規模スポーツ大会において活躍できる選手を育成するため、競技団体が行う強化試合や記録会について補助を行う。また、今後開催する大規模スポーツ大会の運営を担う審判及び指導者を育成するため、競技団体を通じて資格取得に係る費用の一部について補助を行う。

(3) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」と、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を行う。

(4) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行う。

(5) 学校部活動支援業務

中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行う。また、協会の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行う。

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市が策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行う。

(1) スポーツ教室等の開催

① 開催方針

スポーツ・レクリエーション活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら、子どもが多様なスポーツに接することのできる教室や高齢者がその健康状態や体力に応じて楽しめる教室、子育て世代・働く世代が参加しやすい教室の開催など、名古屋市の指定した開催方針に、次に挙げる協会独自の視点を加えて企画し、親子でふれあえる事業やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層を対象に多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催する。

【協会独自の視点】

- ・親子のふれあいを育む「親子スポーツ交流会」
- ・スポーツへの関心や興味を高める「アスリートふれあい事業」
- ・スポーツ施設営業拡大日や利用時間延長を活用してのスポーツ教室等の開催

② 内容

教室の種目や内容、対象等によって、年に3期の定期開催・年間にわたる定期開催型の「定期教室」と、大会・イベントや1回ごとに気軽に参加できる事業などの「随時・体験型」とに区分して開催する。

区 分		内 容		会 場
定期 教室	第1期	水泳教室始め	298 教室	総合体育館始め 12 施設 ※
	第2期	テニス教室始め	79 教室	枇杷島スポーツセンター始め 5 施設
	第3期	健康ヨガ教室始め	52 教室	枇杷島スポーツセンター始め 5 施設
	通 年	ジュニアバドミントン教室始め	38 教室	総合体育館始め 8 施設
計			467 教室	総合体育館始め 12 施設
随時・体験型		エアロビクスレッスнтаイム始め	311 事業	総合体育館始め 12 施設

※令和5年度から管理を開始する施設は期の概念がなくなったため、第1期にまとめる。

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室（10 施設）において、トレーニング器具やビデオ装置などを利用し、健康・体力づくりを目的としたトレーニング指導事業を行う。初心者には安全で効果的なプログラム、継続者には体力、目的に合ったプログラム、高齢者には運動機能を維持向上させるようなプログラムなど、市民ニーズに応じた幅広いプログラムの提供を行う。

また、温水プール（10 施設）において、水泳、水中エクササイズ、水中ウォーキングなどのワンポイント的な指導事業を行う。

② スポーツ指導者派遣事業

保健所等地域の機関、団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導、各種スポーツ大会でのストレッチ指導などニーズに応じてスポーツ指導者を派遣し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の支援を行う。

また、派遣するスポーツ指導者の資質向上を目指し、健康運動指導士・スポーツプログラマーの資格取得を推進する。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施する。

相談区分	内 容	施設・回数	相談員
スポーツ医事	メディカルチェック及び運動負荷検査を行うことにより、健康状態を把握し、適切な運動強度の提供や生活習慣病の改善等について総合的なアドバイスを行う	総合体育館 年6回	内科医師
スポーツ障害	スポーツ活動にともなう怪我の予防、既往症等に対する安全な運動方法について、身体のしくみなどを中心にアドバイスを行う	総合体育館 年6回	整形外科医師
健康・体力づくり	健康・体力づくりについて、面談や相談カードを通じて日常的にアドバイスを行う	総合体育館始めトレーニング室を有する施設 随時	協会職員 (スポーツプログラマー等)

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会や体験教室、スポーツ少年団の指導者・リーダーを対象とした研修会の開催や入団案内などを通じて、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動を支援し、スポーツ少年団の普及促進を図る。

3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行う。

(1) スポーツ大会等の開催

市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施し、日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりをする。

主な大会等予定一覧

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 103 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和5年 4月	稲永スポーツセンター他	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
第 58 回 春の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和5年 5～6月	総合体育館他	市内在住 25 歳以上の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
スポーツ体験事業	有名選手やトップチーム等によるふれあい教室や公式戦観戦を通じスポーツ活動の活性化を目的とするスポーツイベント	令和5年 5月～ 令和6年 3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小中学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中学校体育連盟
第 79 回 市民卓球選手権大会	身近なスポーツである卓球を通して市民相互の友好と親睦を図る大会	令和5年 6月	名東スポーツセンター	市内在住 在勤 15歳以上	名古屋市卓球協会
でらスポ☆アリーナ	小学生を対象に名古屋を拠点に活動するトップスポーツチームの選手・コーチから直接指導を受けることにより、スポーツを始めるきっかけとなるようにするスポーツイベント	令和5年 6月	総合体育館	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会
第 19 回 都市間交流スポーツ大会	スポーツを通じて各都市との交流促進を図り、選手の競技力向上と生涯スポーツの普及を目的としたスポーツ大会	令和5年 6～7月	神戸市内 スポーツ施設	5都市対抗 (大阪・横浜・神戸・京都・名古屋)	5都市スポーツ・体育協会
第 65 回 市民スポーツ祭	市内各スポーツ施設等において実施する多彩なスポーツ大会	令和5年 8月 (一部の競技を除く)	市内スポーツ施設等	区対抗の部 始め6部門	名古屋市 名古屋市小中学校体育連盟

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 58 回 秋の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和5年 9～10月	総合体育館他	市内在住 25 歳以上 の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーション バレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
レッツエンジョイスポーツ 絵画コンテスト 2023	小学生対象のスポーツに関係した絵を題材としたコンテスト	(表彰) 令和5年 11月 (展示) 令和5年 12月頃～	スポーティブ・ライフ月間に 関する事業の スポーツイベン ト会場他	令和5年 8月～9月 (作品募集期間)	名古屋市 名古屋市教育委員会
第 104 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和5年 10～11月	稲永スポーツ センター他	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーション インディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
ス ポ ー テ ィ ブ ・ ラ イ フ 月 間 事 業	スポーツの日を中心とする秋季に行うイベント事業や各種のスポーツ普及・啓発事業	令和5年 10～11月	総合体育館他	期間中 自由参加 (一部事前 申込有)	名古屋市 名古屋市総合 リハビリテーション事業団等
	名古屋を拠点に活動しているトップチームの指導による「でらスポ☆スタジアム」をはじめとする各種スポーツイベント	令和5年 11月	瑞穂運動場		
スポーツ 講演会	地元ゆかりの代表選手等による講演会	令和5年 11月	スポーティブ・ライフ月間に 関する事業の スポーツイベン ト会場	自由参加	名古屋市
なごやかカップ ミニ駅伝大会 2024	職場やサークル仲間等と気軽に参加できる駅伝大会	令和6年 1月	瑞穂運動場及 びその周辺	中学生以上 (5人1チーム)	名古屋市

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
ファミリーデーなごや	「家庭の日」の普及啓発を推進するイベントにおいて、親子を対象にスポーツの楽しさや親子ふれあいを図るためのブース等を出展	令和6年 1月	総合体育館	市内在住 小学生と 家族	名古屋市 名古屋市教育委員会
なごやマスターズレクリエーションバレーボール大会2024	生涯スポーツの実践として57歳以上が参加する大会	令和6年 2月	総合体育館 第2競技場	150人 (年齢57 歳以上)	名古屋市
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2024	名古屋ウィメンズマラソンと名古屋シティマラソンを併催し、エリートランナーから市民ランナーまで目的や体力等に応じて参加できるマラソン大会	令和6年 3月	ナゴヤドーム、 白川公園、瑞穂 運動場及びそ の周辺	国内・外 ランナー 33,000人	日本陸上競技連盟 愛知県・名古屋市 中日新聞社

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

加盟団体並びに名古屋市内に活動の拠点を置くスポーツ・レクリエーション団体が開催する各種大会や競技会等に対し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の健全な発展を援助することを目的に後援する。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツと文化・観光を組み合わせたスポーツツーリズムの推進等に協力する。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施する。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者の安全・安心・快適に配慮し、より親しまれる施設を目指す。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」及び「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行う。

② ホームページの運用

ホームページにて、各事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行う。各施設の特性や出来事についてはブログを活用するとともに、NESPA YouTube チャンネルにおいては、施設の魅力の紹介や体験レポートなどバラエティーに富んだ動画の配信を行うなど、協会の取組みを広く発信し、集客に努める。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

各事業の取組みやイベント情報、スポーツ教室等の受講者募集や各施設の休場案内等をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、定期・不定期にメールマガジンを発行する。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、Facebook や X（旧：Twitter）など SNS の特性を活かした情報提供を行う。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベントなど、耳よりな情報を満載した施設だより等を発行するほか、各施設ホームページやロビー等にてデジタルサイネージを活用し、事業 PR を行うなど、施設に関する情報発信に取り組み、利用者の増加を図る。

⑥ スポーツ資料展示室の運営（スポーツ振興会館 2 階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、名古屋市と連携して、本市で行うスポーツイベントや、話題性のあるスポーツに関する資料を収集し、常設展及び企画展を行う。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館 1 階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じるほか、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供する。

5 スポーツ功労者の表彰

地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営及び事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰する。

区 分	内 容
表彰の対象	(1) 地域スポーツ及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの (2) 選手育成及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの
表彰の時期	令和 5 年 11 月

なお、競技会等で優秀な成績を収めた選手については、名古屋市スポーツ功労者表彰において名古屋市とともに表彰する。

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

加盟団体が主催・主管する各種大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催し、意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与する。

7 体育施設の管理運営

(1) 管理運営の方針

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、体育施設 18 施設の管理運営を行う。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努める。

さらに、市民のスポーツ施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツの機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設を目指す。なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の 2 者で実施する。

(2) 目標利用者数

施 設 名	指定管理期間	目 標 利用者数	(内数)	
			トレーニング室	温水プール
総合体育館 ※1	令和5年度～9年度	1,540,000	93,900	43,200
露橋スポーツセンター ※1	令和5年度～9年度	155,000	46,400	27,900
枇杷島スポーツセンター	平成30年度～令和6年度 ※2	284,000	78,400	53,600
稲永スポーツセンター	令和5年度～9年度	218,000	76,100	—
北スポーツセンター	令和5年度～9年度	229,000	71,700	73,100
中村スポーツセンター ※1	平成30年度～令和6年度 ※2	226,000	90,900	78,400
名東スポーツセンター	平成30年度～令和6年度 ※2	289,000	73,000	69,500
中スポーツセンター ※1	令和5年度～9年度	189,000	90,400	61,100
南陽プール	令和5年度～9年度	90,000	33,100	49,200
山田西プール	平成30年度～令和5年度 ※3	44,000	—	44,000
富田北プール	平成30年度～令和6年度 ※2	86,000	—	72,700
黒川スポーツトレーニングセンター	令和5年度～9年度	102,000	79,900	—
港サッカー場	令和5年度～9年度	36,700	—	—
港プール	令和5年度～9年度	11,400	—	—
中川プール	平成30年度～令和6年度 ※2	3,600	—	—
楠プール	令和5年度～9年度	4,000	—	—
山田プール	平成30年度～令和6年度 ※2	5,400	—	—
富田プール	令和5年度～9年度	4,800	—	—
計		3,517,900	733,800	572,700

注：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、平成30年度から過去3年度遡った（平成30～28年度）実績平均に係数を乗じた数値や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

※1 令和5年度中休場する施設（総合体育館 レインボープール等、露橋スポーツセンター、中村スポーツセンター 第1競技場、中スポーツセンター 第1・2競技場）

※2 指定管理期間が2年間延長された施設（枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、富田北プール、中川プール、山田プール）

※3 令和5年度末で廃止

8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進

2026年に愛知・名古屋で開催される、「第20回アジア競技大会」・「第5回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進する。

(1) なごやアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会・アジアパラ競技大会での活躍を目指す名古屋のジュニアアスリートやパラアスリートを支援するため、「なごやアスリート応援基金」を設立し、広く市民等から寄付金を募り、アスリートの育成にかかる経費を助成する。

(2) アジア競技大会・アジアパラ競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会・アジアパラ競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施するとともに、協会管理施設やスポーツ資料展示室において独自の展示イベントを開催し、普及啓発及び機運醸成を図る。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

小学校において、地域で子どもを育てる環境を充実するため、放課後や週末などに子どもたちに遊びや学び、体験活動をさせる放課後学級を行う。令和5年度は前年度の実施校から1校が小学校の統廃合により廃止されることにより、201校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
※ 201 校	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・放課後学級ルーム ・体育館及び運動場等

※受託期間 令和6年度まで：46校、令和7年度まで：52校、令和8年度まで：49校、令和9年度まで：54校

(1) 活動方針

① トワイライトスクールとしての機能拡充

事業内容の充実・活性化を図る。とりわけ、地域の人的・物的資源を生かした特色ある活動や、学生ボランティアをより活用するなどして、子どもたちが学習に興味・関心をもつことができるような「学びの活動」などを実施する。

② 世代間交流事業の展開と体験活動の充実

土曜日を中心とした地域住民との交流や親子参加型の体験活動、地域行事との連携など世代間交流事業の展開を図る。

また、子どもたちの一層の参加を促し、豊富な体験ができるよう、運営指導者や地域協力員の資質向上のための研修を行うとともに、学生ボランティアなどの若い世代の協力による体験活動や、名古屋市科学館、鶴舞中央図書館、エコパルなごやなどの協力による特別な体験活動を実施することにより、体験活動の充実を図る。

③ 学校との連携強化

参加児童の安全確保をはじめ体育館・運動場など様々な学校施設の一層の活用を図るため、学校との相互理解をすすめ、連携強化に努める。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクールが行っている「自主性、社会性、創造性を育む教育的な役割」と、「留守家庭等の子どもが安心やくつろぎを感じて過ごすことができるようにする子育て支援等としての役割」の双方を併せ持つ事業を小学校施設内において一体的に実施する。令和5年度は前年度の実施校から1校が他団体の運営に移管されるため、49校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
※ 49校	すべての子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組みを行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・ライフルーム（生活面を重視した部屋） ・プレイルーム（活動を重視した部屋） ・体育館及び運動場等

※受託期間 令和6年度まで：14校、令和7年度まで：11校、令和8年度まで：10校、令和9年度まで：14校

3 生涯学習センター

(1) 施設の管理運営

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）を管理運営する。

(2) 管理運営方針

安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行う。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努め、生涯を通じた学習活動を支援する。

また、自主学習グループ等との連携により、趣味・教養、食・運動など市民ニーズが高い講座を実施する。

(3) 目標利用者数

施 設 名	指定管理期間	目標利用者数
千種生涯学習センター	令和2年度～6年度	95,500
北生涯学習センター	令和2年度～6年度	118,400
西生涯学習センター	令和2年度～6年度	87,900
中村生涯学習センター	令和5年度～9年度	91,900
中生涯学習センター	令和2年度～6年度	81,100
昭和生涯学習センター	令和2年度～6年度	83,400

施設名	指定管理期間	目標利用者数
瑞穂生涯学習センター	令和2年度～6年度	89,800
熱田生涯学習センター	令和5年度～9年度	69,600
港生涯学習センター	令和5年度～9年度	51,800
南生涯学習センター	令和5年度～9年度	82,700
名東生涯学習センター	令和5年度～9年度	80,900
計		933,000

注：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、平成30年度から過去3年度遡った（平成30～28年度）実績平均に係数を乗じた数値や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校27校で体育館、運動場、特別活動室、音楽室、図書室、プール等を開放する事業を実施する。

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるよう、次の事業を行う。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行う。

区分	校数	参加予定人数	対象	場所
小学校	261	20,071	5年生	名古屋市中津川 野外教育センター
特別支援学校	4	412	小学部5年生 中学部2年生 高等部2年生	
中学校	110	17,393	2年生	名古屋市稲武 野外教育センター
計	375	37,876		

※ 実施時期 令和5年4月24日（月）～11月2日（木）

※ 参加予定人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣する。

※ 派遣期間 令和5年7月21日（金）～8月30日（水）

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を行う。また、科学教室の中で、小・中学生とその保護者を対象にした親子教室を行う。

区 分	コース数	募集人数	時 期	活 動 場 所
野外観察	18 自然の部15 社会の部 3 (親子教室16を含む)	690	7・8・12月	鳳来寺、伊吹山、 ひるがの、瑞浪、赤坂、 高座山、栗代鉦山、 師崎、長浜、郡上八幡、 セントレア、中津川
プログラミング	6 (親子教室4を含む)	240	7・8月	スポーツ振興会館
製作・実験	13 (親子教室5を含む)	400	7・8・12月	小・中学校 スポーツ振興会館
計	37	1,330		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行う。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校 1 校含む)	262 校
特別支援学校、鳴海中学校	6 校

※上表のほか稲武野外教育センターの物資の一部を調達

※その他中学校の牛乳代金の授受に関する事務を実施

(2) 学校給食用物資の購入

- ① 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき、安価で良質な物資を年間・学期・月などの契約単位で調達する。
- ② 学校給食用物資及び納入業者について、学校給食用物資委員会での審査を経て登録する。
- ③ 食の安全への配慮から、購入物資に関してアレルギー物質や食品添加物の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供するとともに、アレルギー物質や食品添加物の使用をより少ないものを納入・製造業者とともに開発し、学校給食用物資委員会に提案する。
- ④ SDGs にもつながる人と環境にやさしい物資の調達に努めるため、有機栽培や農薬・化学肥料の使用を抑えて栽培された青果物・その加工品の使用を促進する。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送する。また、安全かつ適切な輸送について、輸送業者への指導を行う。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

- ① 学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について実地調査を行い、食品及び環境の衛生管理について指導する。また、食品の安全衛生に関する知識や意識を高めるための衛生管理指導会を年 2 回開催する。
- ② 学校給食用物資の安全性や品質の確保を図るため、細菌検査や、残留農薬、放射性物質等の理化学検査を実施する。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 地産地消の推進

学校における食育の推進に寄与するため、学校給食で使用する野菜や加工品について、名古屋市内産や愛知県内産の使用を増やして地産地消を進める。

(2) 「食」に関する啓発事業の実施

① 給食新聞の発行

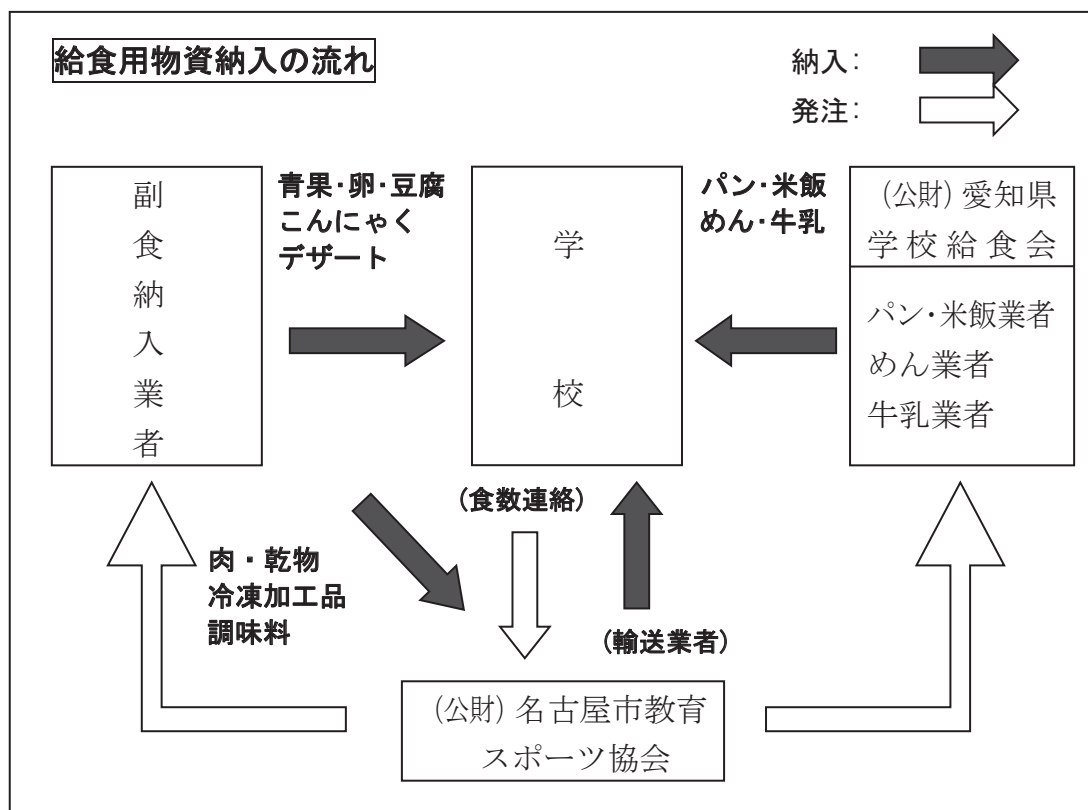
献立や食材の紹介、児童や保護者の声等を掲載する「なごやの学校給食」を年2回発行し、児童の保護者に配布するとともに、ホームページ上で公開する。

② 料理教室の開催等

小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」を開催するほか、ホームページで「デジタル料理教室」を配信する。また、「給食かるた」をトワイライトスクール・ルームでの食育活動で活用するとともに学校や家庭に提供する等、児童の「食」への関心を深める事業を実施する。

さらに、各学校で実施される給食試食会に出向いて、児童の保護者に学校給食や物資調達業務に関する説明を行う。

<参考>



Ⅱ 収支予算

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	297	297	0
(2)特定資産運用益	313	304	9
(3)受取会費	5,184	5,264	△80
(4)受取受託金	2,823,129	2,912,519	△89,390
(5)受取指定管理料	1,999,545	2,054,253	△54,708
(6)受取利用料金	1,223,712	1,294,402	△70,690
(7)事業収益	7,203,156	6,590,248	612,908
(8)受取補助金等	227,317	226,261	1,056
(9)受取負担金	19,432	13,982	5,450
(10)受取寄附金	1,000	2,000	△1,000
(11)雑収益	12,462	11,844	618
経常収益 計	13,515,547	13,111,374	404,173
②経常費用			
(1)事業費	13,481,145	13,073,805	407,340
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,335,551	3,467,914	△132,363
競技スポーツ事業費	71,849	64,770	7,079
学校開放事業費	2,791,965	2,886,671	△94,706
野外教育事業費	243,688	239,369	4,319
学校給食事業費	6,939,178	6,309,231	629,947
退職給付費用	33,036	37,200	△4,164
賞与給付費用	65,878	68,650	△2,772
(2)管理費	34,402	37,569	△3,167
事務局費	34,224	37,410	△3,186
退職給付費用	92	75	17
賞与給付費用	86	84	2
経常費用 計	13,515,547	13,111,374	404,173
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	790,412	867,773	△77,361
一般正味財産期末残高	790,412	867,773	△77,361
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	297	297	0
一般正味財産への振替額	△297	△297	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000	120,000	0
指定正味財産期末残高	120,000	120,000	0
III 正味財産期末残高	910,412	987,773	△77,361

収支予算書内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公1	公2	公3	公共通	小計	収益	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
(2)特定資産運用益	313	0	0	0	313	0	0	313
(3)受取会費	5,184	0	0	0	5,184	0	0	5,184
(4)受取受託金	10,990	2,808,452	0	0	2,819,442	3,687	0	2,823,129
(5)受取指定管理料	1,413,464	406,734	0	0	1,820,198	179,347	0	1,999,545
(6)受取利用料金	598,469	118,856	0	0	717,325	506,387	0	1,223,712
(7)事業収益	125,777	212,235	6,858,684	0	7,196,696	6,460	0	7,203,156
(8)受取補助金等	111,303	38,069	77,945	0	227,317	0	0	227,317
(9)受取負担金	19,432	0	0	0	19,432	0	0	19,432
(10)受取寄附金	1,000	0	0	0	1,000	0	0	1,000
(11)雑収益	5,496	0	1,524	0	7,020	154	5,288	12,462
経常収益 計	2,291,428	3,584,346	6,938,153	297	12,814,224	696,035	5,288	13,515,547
②経常費用								
(1)事業費	2,392,083	3,606,610	6,947,577	0	12,946,270	534,875	0	13,481,145
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,270,674	542,126			2,812,800	522,751		3,335,551
競技スポーツ事業費	71,849				71,849			71,849
学校開放事業費		2,791,965	0		2,791,965	0	0	2,791,965
野外教育事業費	0	243,688	0	0	243,688	0	0	243,688
学校給食事業費	0	0	6,939,178	0	6,939,178	0	0	6,939,178
退職給付費用	15,473	10,442	3,687	0	29,602	3,434	0	33,036
賞与給付費用	34,087	18,389	4,712	0	57,188	8,690	0	65,878
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	34,402	34,402
事務局費	0	0	0	0	0	0	34,224	34,224
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	92	92
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	86	86
経常費用 計	2,392,083	3,606,610	6,947,577	0	12,946,270	534,875	34,402	13,515,547
評価損益等調整前当期経常増減額	△100,655	△22,264	△9,424	297	△132,046	161,160	△29,114	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△100,655	△22,264	△9,424	297	△132,046	161,160	△29,114	0
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	100,655	22,264	9,424	0	132,343	△132,343	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	297	297	28,817	△29,114	0
一般正味財産期首残高	△122,806	△109,642	△51,987	7,004	△277,431	597,379	470,464	790,412
一般正味財産期末残高	△122,806	△109,642	△51,987	7,301	△277,134	626,196	441,350	790,412
II 指定正味財産増減の部								
①基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
一般正味財産への振替額	0	0	0	△297	△297	0	0	△297
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
III 正味財産期末残高	△122,806	△109,642	△51,987	127,301	△157,134	626,196	441,350	910,412

(注) 公1: 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業

公2: 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業

公3: 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発達と豊かな食生活を実現する事業

収益: 管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業

第4 令和4年度事業報告及び収支決算

I 事業報告

当協会は、昭和58年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してきた。その後平成10年4月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始し、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」に変更した。また、平成18年4月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えた。

平成22年4月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、幅広い事業を展開することとなった。

また、平成25年4月からは公益財団法人に移行し、名称を「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に変更した。

令和4年度は、「第4次経営戦略計画」（令和2年3月策定。計画期間：令和2～令和4年度）の最終年度となることから、計画に定める経営戦略方針に基づき、より一層の経営改善に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部、十分な結果が得られなかった。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、名古屋市が令和3年度に創設した「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」の会員として、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、様々な取組みを進めた。

競技者の競技力強化や指導者・審判員の養成事業等については、名古屋市体育協会における事業をもとに、各競技団体が実施するジュニア競技力向上事業や審判員・指導者の養成事業に補助を行う等、引き続き積極的に取り組んだ。

また、2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」・「第5回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心とした競技力の向上及び市民の機運醸成を図るため「なごやアスリート応援基金」を設立した。

スポーツ教室及びスポーツ大会の開催等については、名古屋市スポーツ推進計画に沿い、子育て世代を対象とした教室やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層の方々が気軽に楽しく参加できるように、多彩な事業を展開した。

また、スポーツ活動を行う方々を支援するため、スポーツ功労者の表彰や加盟競技団体の活動の後援・助成を行った。

体育施設等については、名古屋市の指定管理者として管理する施設において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、柔軟で効率的な運営に努め、市民・利用者にとって「安全・安心・快適」な管理を行った。

トワイライトスクール事業については、202校において実施し、円滑な運営に努めるとともに、魅力ある事業展開の一層の充実を図った。また、トワイライトルーム事業につい

でも 50 校において実施した。なお、名古屋市や学校等と連携しながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて事業を運営した。

野外教育事業については、子どもたちの貴重な体験の場である野外教育活動の円滑な運営の支援と科学教室の充実に引き続き努めた。

また、学校給食事業について、学校給食の円滑な実施に寄与するため、物資の調達や食育の推進に係る事業を実施した。

本報告は、令和 4 年度に実施した事業について、次記の区分に従いその詳細を報告するものである。

記

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業**
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等**
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり**
 - 3 スポーツ大会及び講習会の開催及び協力**
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供**
 - 5 スポーツ功労者の表彰**
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化**
 - 7 体育施設等の管理運営**
 - 8 第20回アジア競技大会に向けた取組の推進**
- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業**
- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業**
- IV 理事会・評議員会の開催**
- V その他**

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成及び資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行った。

事業実施競技団体	参加者数	会 場 等
陸上競技協会始め 34 競技団体	5,417 人	瑞穂運動場他

(2) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」として 411 人に助成するとともに、名古屋市や名古屋市立大学と連携し、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を 3 日間行った。

科学的知見を取り入れたトレーニング方法等の指導をする「テクニカルサポート事業」については、実施内容等を再検討の上、令和 6 年度以降に実施することになった。

(3) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行い、市の部において第2位の成績を収めた。

(4) 学校部活動支援事業

市内中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行った。また、協会管理施設の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行った。

区 分	件 数	学校数	参加者数
指導者派遣	5 件	6 校	127 人
交流戦会場提供	6 件	17 校	407 人

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市の策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行った。

(1) スポーツ教室等の開催

幅広い年齢層を対象に、スポーツ活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催した。

区 分		内 容	受講者数	会 場
定期教室	第1期	小学生水泳教室始め 181 (2)教室	4,893 人	総合体育館始め 12 施設
	第2期	弓道教室始め 206 (5)教室	5,057 人	総合体育館始め 12 施設
	第3期	軽スポーツ教室始め 115 教室	3,149 人	総合体育館始め 12 施設
	通 年	ジュニア卓球教室始め 40 (8)教室	1,077 人	総合体育館始め 8 施設
計		542 (15)教室	14,176 人	総合体育館始め 12 施設
随時・体験型		エアロビクスストレスタイム始め 266 事業	48,377 人	総合体育館始め 12 施設

※ 表内 () は「名古屋市ジュニアスポーツ教室」で内数

※ 随時・体験型の受講者数は延べ数

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室（10 施設）個人利用者 588,483 人のうち、延べ 23,428 人に対して新規指導やベーシック、カウンセリングコース指導など、健康・体力づくりを目的としたプログラム指導を行った。

また、温水プール（10 施設）個人利用者 445,964 人のうち、延べ 6,405 人に対して泳法やウォーキング法などの水中運動に関するワンポイントアドバイスを行った。

② スポーツ指導者派遣事業

保健所等地域の機関や団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導など、ニーズに応じてスポーツ指導者を延べ 161 名派遣し、延べ 2,850 人に指導を行った。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施した。

区 分	実施会場	回数	相談員	相談者数
スポーツ 医事相談	総合体育館	6 回	内科医師	16 人
スポーツ 障害相談	総合体育館	6 回	整形外科医師	18 人
健康体力 づくり相談	総合体育館始め 13 施設	随時	施設職員 (スポーツプロ グラマー等)	カード相談 20 人 窓口相談14,905 人

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会を開催し、5 団 104 名が参加した。その他にも体験教室やスポーツ少年団の指導者・リーダー・保護者を対象とした事業の開催などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

なお、例年通り、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動への支援は継続して行い、スポーツ少年団の普及促進を図った。

3 スポーツ大会及び講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行った。

(1) スポーツ大会等の開催

日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりとして市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、一部のイベントについては中止となった。

大会名	開催日	参加者数等	会場等
第 101 回レクリエーション インディアカ大会	4月10日（日） ～24日（日）	524人	稲永スポーツセン ター他
第 57 回春の女性レクリエーショ ンバレーボール大会	5月11日（水） ～6月7日（火）	2,505人	総合体育館他
第 64 回市民スポーツ祭	5月15日（日） ～2月22日（水）	20,740人 一部中止	総合体育館他
なごやマスターズ水泳大会2022	5月22日（日）	387人	総合体育館 レインボープール
第 18 回都市間交流スポーツ 横浜大会	6月11日（土） ～7月10日（日）	2,634人	横浜市内各競技会 場
第 78 回市民卓球選手権大会	6月19日（日）	248人	名東スポーツセン ター

大会名		開催日	参加者数等	会場等
ニチレイチャレンジ 泳力検定会 2022 名古屋大会		6月19日（日）	422人	総合体育館 レイン ボープール
でらスポ☆アリーナ		6月25日（土）	140人	総合体育館
やろまい運動・スポーツ絵画コン テスト 2022		8月16日（火） ～3月27日（月）	936人 936点	スポーツ資料展示 室他
スポーツ体験事業		8月17日（水） ～2月12日（日）	292人	日本ガイシアリー ナ（アイスリンク） 他
子どもスポーツフェスタ・夏		9月4日（日）	62人	総合体育館 50m温水プール他
第 57 回秋の女性レクリエーショ ンバレーボール大会		9月7日（水） ～10月4日（火）	2,523人	総合体育館他
スポーティ ブ・ライフ 月間等イベ ント	施設イベント	10月1日（土） ～11月30日（水）	6,303人	市内各スポーツ施設
	はじめよう！つづけ よう！スポーティ ブ・ライフ in 瑞穂	11月23日（水・祝）	448人 雨天一部中止	瑞穂運動場
第 102 回レクリエーション インディアカ大会		10月23日（日） ～11月6日（日）	555人	稲永スポーツセン ター他
スポーツ講演会		11月23日（水・祝）	中止	瑞穂運動場
なごやかカップミニ駅伝大会 2022		12月17日（土）	中止	瑞穂運動場 及びその周辺
ファミリーデーなごや		1月14日（土）	15,380人	総合体育館他
子どもスポーツフェスタ・冬		1月21日（土）	872人	総合体育館他
なごやマスターズ レクリエーションバレーボール 大会 2023		2月22日（水）	中止	稲永スポーツセン ター
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2023		3月10日（金） ～12日（日）	ウィメンズ 12,732人 シニアマラソン 7,999人 ホールチェア 14人 オンライン 1,204人	バンテリンドーム ナゴヤ他

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

「日本女子 JD リーグ第 1 節名古屋ラウンド」を始めとしたスポーツ大会等 99 事業を後援した。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツツーリズムの推進等に協力した。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施した。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者ニーズを反映し接遇の向上に努め、より親しまれる施設運営を行った。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」、「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行った。

② ホームページの運用

ホームページにて、各種事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行った。各施設の特性や出来事についてはブログの活用にも努め、NESPA YouTubeチャンネルでは、「温水プールPR動画」や「大学生によるプラススポーツ体験」、「なごやアスリート応援基金における支援アスリートの紹介」や「デジタル料理教室」等の配信を行った。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

スポーツ教室等の受講者募集や施設の休場、イベントなどのスポーツ情報をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、月 2 回、メールマガジンを配信した。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、Facebook や X（旧：Twitter）など SNS の特性を活かした情報提供を行った。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベント、施設からのお知らせなどを記事にした施設だよりを発行したほか、区役所や図書館等各公所と事業ちらし等を相互に配架し PR に努めた。また、ロビーに設置したデジタルサイネージでの事業 PR やスポーツ情報コーナーの活用、名古屋のトップスポーツチームを紹介するコーナーの設置など、身近な情報を様々な媒体で発信した。

⑥ スポーツ資料展示室の企画展の開催（スポーツ振興会館 2 階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、7 月から 9 月に「2026 年アジアパラ競技大会 愛知・名古屋開催決定記念展示」としてパラスポーツの紹介及びボッチャ体験コーナーを設置したほか、11 月から「名古屋の高校生アスリート紹介展示」として 2026 アジア競技大会出場候補として期待される地元選手の紹介、12 月に「やろまい運動・スポーツ絵画コンテスト入賞作品展」、2 月から 3 月に「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2023 展」を開催した。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館 1 階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じた。また、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供した。

5 スポーツ功労者の表彰

競技会等で優秀な成績を収めた選手や地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営並びに事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰した。

区 分	内 容	被表彰者数
表彰の対象	①名古屋市スポーツ功労賞において「スポーツ奨励賞」を受賞するもの	132 人
	②名古屋市スポーツ功労賞において「生涯スポーツ奨励賞」を受賞するもの	4 人
	③地域スポーツの発展及び選手育成、協会の発展のために顕著な功労のあったもの	46 人
表彰式	3 月 24 日（金）名古屋市公館（上記①及び②） 11 月 23 日（水・祝）瑞穂運動場（上記③）	

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

「第 55 回名古屋市バスケットボール選手権大会」始め加盟団体が主催・主管する 42

大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催して意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与した。

7 体育施設等の管理運営

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、総合体育館を始め体育施設等 20 施設の管理運営を行った。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努めた。さらに、市民の体育施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツ機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設運営を行った。

新型コロナウイルス感染防止に対する取組みとして、安全・安心にご利用いただけるよう、消毒や換気の実施、定員の見直しなどを行った。

なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の 2 者で実施した。

また、青少年交流プラザでは本館・分館を一体的に管理し、設置目的（社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図ること）並びに青少年のニーズに沿った事業運営に取り組んだ。なお、青少年交流プラザの管理運営は、協会、「NPO 法人 ICDS」及び「特定非営利活動法人子ども&まちネット」の 3 者で実施した。

8 第 20 回アジア競技大会に向けた取組の推進

愛知・名古屋で開催される、「第 20 回アジア競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進した。

(1) なごやジュニアアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会での活躍を目指す子どもたちを支援するため、「なごやジュニアアスリート応援基金」を設立し、広く市民等から寄付金を募り、4 名を支援アスリートとして決定した。第 5 回アジアパラ競技大会の開催決定を受け、10 月からは、支援対象にパラアスリートを加え「なごやアスリート応援基金」とした。

(2) アジア競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施し、普及啓発及び機運醸成を図った。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

トワイライトスクールは、子どもたちの遊びや学び、体験、地域の人々の知識や経験を生かした世代間交流、生涯学習の振興、子育て支援、高齢者の生きがいづくりなどを図ることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライト スクール	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通して異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通して、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの希望する児童 ②活動場所 放課後学級ルーム、体育館、運動場等

※受託期間 令和4年度まで：55校、令和6年度まで：46校、令和7年度まで：53校、令和8年度まで：48校

(2) 実施校数

放課後学級実施校	放課後学級・生涯学習開放 並行実施校	合 計
178 校	24 校	202 校

(3) 実 績

ア 活動内容

子どもたちの自主的な遊びや学習活動のほか、愛知教育大学、椋山女学園大学、東海学園大学などの学生、保護者、高齢者等の幅広いボランティアの協力により、体験活動や学びの活動など様々な活動を行った。

さらには、子どもたちの体験活動をより豊富にするために、名古屋サッカー協会、名古屋市科学館、でんきの科学館等の協力を得るとともに、「トワイライト交流」「地域ふれあいサタデー」などへの参加を通して地域との交流、学校間の交流を促進した。

また、換気、消毒、日常の健康管理、身体的距離の確保、子どもたちの心のケアなど、トワイライトにおいて留意すべき事項をまとめたガイドラインを作成し、コロナ禍においても、感染症対策をしたうえで運営が継続できるようにするとともに、

活動の充実を図り、児童図書、おもちゃ、運動用具を購入するなど、トワイライトのリフレッシュを行った。

イ 参加状況

申込状況			参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	日数	参加者数	1日平均
81,405 人	33,774 人	41.5%	58,138 日	1,647,740 人	28.3 人

ウ 学びの活動

子どもたちが学習習慣を身につける一助として、日常的に学校で学んだことの復習や読書などに取り組む学習活動を全校で実施した。

また、子どもたちの学習意欲を高める活動として、専門員や学生ボランティア等により、ゲーム感覚で楽しみながら学習に興味・関心を持つことができる活動も行った。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクール事業を基盤に、就労等により昼間保護者が家庭にいない児童に対し、より生活に配慮した事業を一体的に実施することで、子どもたちが豊かで健やかに放課後を過ごすことができることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライト ルーム	子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに、昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組みを行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ライフルーム (生活面を重視した部屋) プレイルーム (活動を重視した部屋) 体育館及び運動場等

※受託期間 令和4年度まで：15校、令和6年度まで：14校、令和7年度まで：11校、令和8年度まで：10校

(2) 実施校数 50 校

区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称
千種区	富士見台	中村区	八 社	中川区	千音寺	緑 区	戸 笠
東 区	山 吹	中村区	ほのか	港 区	小 碓	緑 区	黒 石
東 区	葵	中 区	大 須	港 区	南 陽	緑 区	南 陵
東 区	砂田橋	中 区	正 木	港 区	稲 永	緑 区	大高北
北 区	名 北	昭和区	松 栄	南 区	笠 寺	緑 区	小 坂
北 区	金 城	昭和区	広 路	南 区	菊 住	名東区	藤が丘
北 区	味 鉢	瑞穂区	弥 富	守山区	小 幡	名東区	香 流
北 区	宮 前	瑞穂区	高 田	守山区	守 山	名東区	梅森坂
西 区	児 玉	熱田区	高 蔵	守山区	志段味西	名東区	極 楽
西 区	平 田	熱田区	船 方	守山区	天子田	天白区	平 針
西 区	なごや	熱田区	大 宝	守山区	小幡北	天白区	大 坪
中村区	牧 野	中川区	八 幡	緑 区	鳴海東部		
中村区	岩 塚	中川区	戸 田	緑 区	有 松		

※ 生涯学習開放並行実施校 3 校を含む

(3) 実 績

ア 活動内容

トワイライトスクールで行われている遊び・学び・体験・交流に加え、各ルーム校における実情に合わせ、「生活」ということに注目し、1日の生活リズムを決め、基本的な生活習慣を身につけさせたり、子どもたちが自分からお手伝いを進んで行えるきっかけをつくったり、連絡帳を使って子どもの様子を伝えたりして、子どもたちの見守りを行った。

なお、ルーム校においても、コロナ禍で作成したガイドラインに基づき、運営が継続できるようにするとともに、トワイライトのリフレッシュを行った。

イ 参加状況

申込状況				参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	選択申込数	日数	参加者数	1日平均
24,146 人	10,412 人	43.1%	1,946 人	14,610 日	595,812 人	40.8 人

3 生涯学習センター

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）において、安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行った。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努めるとともに、自主学習グループと連携して、趣味・教養、食・運動など、協会独自の講座・教室等を開催した。

新型コロナウイルス感染防止に対する取組みとして、安全・安心にご利用いただけるよう、消毒や換気を実施し、活動室等の利用定員を変更した。また、利用調整を予約抽選方式で実施した。

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、小学校27校にて体育館・運動場・特別活動室等・会議室・図書室・音楽室・多目的室・プールを開放して市民の利用に供した。

施設名	体育館	運動場	特別活動 視聴覚室	研修 会議室	図書室	音楽室	多目的室	プール
開放日数	6,098	2,207	4,169	1,929	1,866	2,650	799	135
利用人員	90,856	58,497	5,476	4,405	10,373	1,295	2,458	5,860
学校数	25	23	15	8	16	12	3	7

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるため、次の事業を実施した。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行った。

施設名	参加学年	校数	参加人数	事業実績
中津川野外教育センター	小学校5年生	262校	19,403人	バス輸送 765台 給食の供給 59,545食
	特別支援学校 小学部5年生 中学部2年生 高等部2年生	4校	452人	
	小計	266校	19,855人	
稲武野外教育センター	中学校2年生	110校	17,116人	バス輸送 640台 給食の供給 51,380食
	小計	110校	17,116人	
計		376校	36,971人	

※実施時期 令和4年4月25日（月）～11月3日（木・祝）

※参加人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣した。

区分	中津川野外教育センター	稲武野外教育センター
派遣期間	令和4年7月21日（木）～ 8月30日（火）	令和4年7月21日（木）～ 8月30日（火）
派遣人数	延べ95人	延べ116人

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を実施した。また、科学教室の中で、小学生とその保護者を対象にした親子教室を実施した。

区 分	コース数	参加人数	時 期	場 所
自然・社会	16 自然の部 13 社会の部 3 (親子教室のみ)	469 人	7 月、8 月	鳳来寺、伊吹山、 ひるがの、瑞浪、 高座山、赤坂、 栗代鉦山、師崎、 郡上八幡、長浜、 セントレア
プログラミング	8 (親子教室 4 を含む)	223 人	7 月、8 月	小学校、 スポーツ振興会館
製作・実験	11 (親子教室 5 を含む)	311 人	8 月	小・中学校、 スポーツ振興会館
計	35 (親子教室 25 を含む)	1,003 人		

※中津川（天文・気象）2 コースは中止

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行った。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校 1 校含む)	263 校
特別支援学校、鳴海中学校	6 校
その他※	1 施設

※稲武野外教育センターは一部の物資を取扱い

※上表のほか中学校の牛乳代金の授受に関する事務

(2) 学校給食用物資の購入

ア 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき安価で良質な物資を、年間・学期・月などの契約単位で調達した。

イ 学校給食用物資及び納入業者については、学校給食用物資委員会での審査を経て、新たに 21 物資を登録した。

ウ 地産地消を推進し、身近な食材について理解を深めるため、名古屋市内産及び愛知県内産の野菜や加工品の活用を積極的に進め、特に市内産の野菜は 7 種類を調達した。

エ 食の安全への配慮から、購入物資におけるアレルギー物質の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供した。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送した。

また、物資の積み降ろしや、学校から預かる鍵の管理等の輸送実態を必要に応じて調査し、輸送業者の指導を行った。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について 72 箇所の事業所を实地調査し、食品及び環境の衛生管理について指導を行った。

登録業者を対象として、衛生管理指導会を年 2 回開催し、食品の安全衛生について

の知識、意識を高めた。

また、細菌・理化学検査を物資事業者による納品前検査を含め 500 検体 1,470 項目にわたり実施し、学校給食用物資の安全性や品質の確保を図った。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 給食新聞「なごやの学校給食」の発行

年 2 回（9 月・2 月）全保護者対象に発行した。

(2) 「食」に関する啓発事業

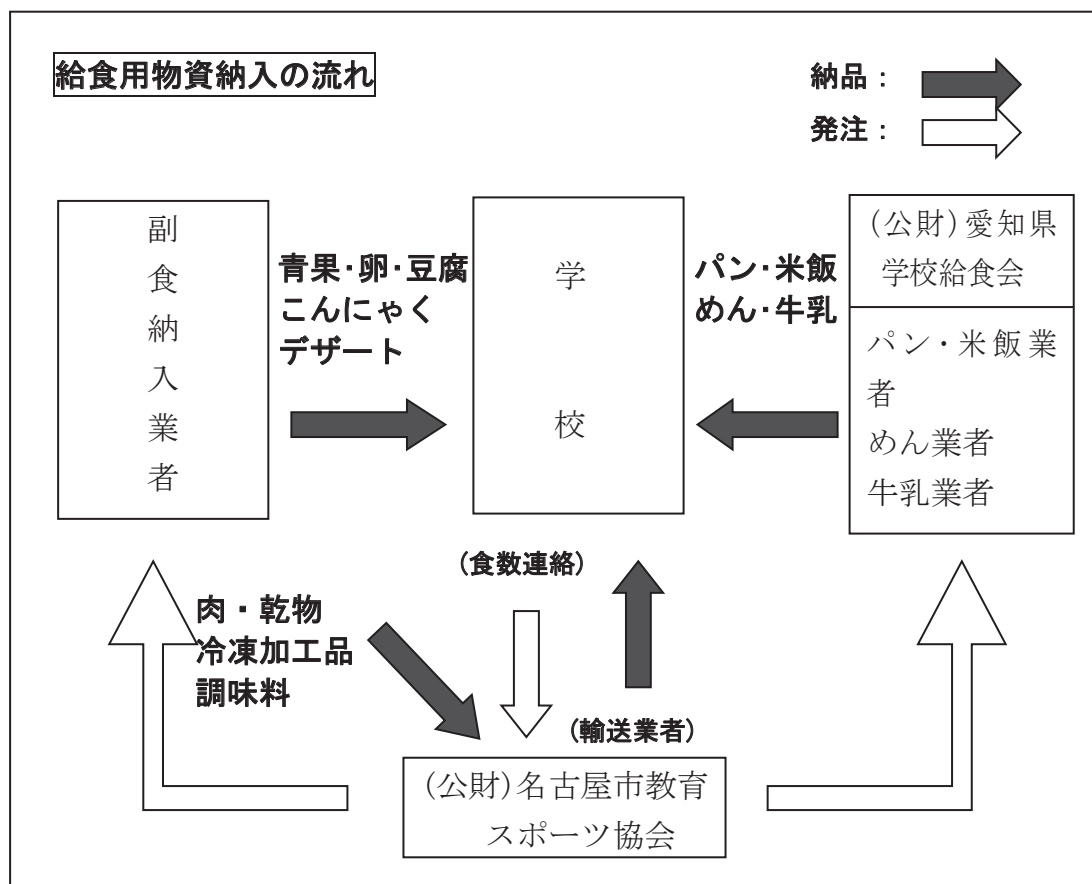
新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めつつ、小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」、トワイライトスクール等で給食クイズや給食かるた遊びを行ったほか、小学校等へ「給食かるた」の貸出を行うなど「食」への関心を深める事業を実施した。

また、ホームページで「デジタル料理教室」の配信及び「給食かるた」のダウンロードサービスを実施した。

(3) 各学校で実施される試食会への参加

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となっていた、各学校で実施される試食会への参加を再開した。

<参考>



Ⅳ 理事会・評議員会の開催

1 理事会の開催

令和4年度における理事会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席理事・監事	議 案
第1回 理事会	令和4年 5月18日	(決議の省略)	1 令和4年度第1回評議員会の開催について
第2回 理事会	令和4年 6月14日	スポーツ振興会館 理事 15名 (定足数 11名) 監事 2名	1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度収支決算について 3 副理事長の選定について 4 定時評議員会の開催について
第3回 理事会	令和4年 9月14日	(決議の省略)	1 令和4年度第3回評議員会の開催について
第4回 理事会	令和5年 3月17日	スポーツ振興会館 理事 16名 (定足数 11名) 監事 1名	1 第5次経営戦略計画の策定について 2 令和5年度事業計画案について 3 令和5年度収支予算案について 4 加盟団体の承認及び公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会加盟団体規程の改正について 5 定時評議員会の開催について
第5回 理事会	令和5年 3月28日	(決議の省略)	1 令和4年度第4回評議員会議案の追加について
第6回 理事会	令和5年 3月31日	(決議の省略)	1 事務局長の任用に関する件について 2 常務理事の選定について

2 評議員会の開催

令和4年度における評議員会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席評議員	議 案
第1回 評議員会	令和4年 5月31日	(決議の省略)	1 理事の選任について 2 監事の選任について 3 評議員の選任について
第2回 評議員会	令和4年 6月29日	スポーツ振興会館 評議員 14名 (定足数 12名)	1 令和3年度収支決算について 2 理事の選任について 3 監事の選任について
第3回 評議員会	令和4年 9月30日	(決議の省略)	1 理事の選任について
第4回 評議員会	令和5年 3月29日	スポーツ振興会館 評議員 14名 (定足数 11名)	1 役員(理事長・監事)の業績評価について 2 理事の選任について

V その他

1 令和4年度管理施設と利用者数（人）

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室	温水プール
総合体育館	平成28年度 ～令和4年度	1,462,164 (1,456,041)	45,560 (43,302)	114,237 (110,372)
瑞穂運動場	平成30年度 ～令和4年度	865,405 (857,336)	85,863 (81,851)	27,374 (26,261)
露橋スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	199,428 (189,854)	54,708 (51,872)	30,321 (28,255)
枇杷島スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	224,854 (217,738)	48,104 (45,767)	33,682 (31,809)
稲永スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	199,017 (191,989)	63,528 (59,915)	—
北スポーツセンター	平成28年度 ～令和4年度	206,512 (198,363)	54,754 (51,877)	57,542 (54,850)
中村スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	276,308 (263,823)	69,371 (65,758)	61,966 (58,251)
名東スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	248,313 (235,838)	66,123 (62,576)	65,577 (61,962)
南陽プール	平成30年度 ～令和4年度	73,880 (69,818)	25,407 (23,943)	40,311 (38,090)
山田西プール	平成30年度 ～令和6年度	40,002 (37,922)	—	40,002 (37,922)
富田北プール	平成30年度 ～令和6年度	73,739 (69,602)	—	54,606 (51,443)
黒川スポーツトレーニングセンター	平成30年度 ～令和4年度	96,241 (92,150)	76,936 (75,065)	—
港サッカー場	平成28年度 ～令和4年度	41,745 (41,330)	—	—
港プール	平成28年度 ～令和4年度	10,641	—	—
中川プール	平成30年度 ～令和6年度	3,572	—	—
楠プール	平成28年度 ～令和4年度	3,953	—	—
山田プール	平成30年度 ～令和6年度	5,680	—	—
富田プール	平成28年度 ～令和4年度	4,456	—	—
小計		4,035,910 (3,921,804)	590,354 (561,926)	525,618 (499,215)

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室		温水プール
			トレーニング室	温水プール	
青少年交流プラザ	平成 29 年度 ～令和 4 年度	114,481 (113,984)	—	—	—
青少年宿泊センター	平成 29 年度 ～令和 4 年度	43,593	—	—	—
小計		158,074 (113,984)	—	—	—
千種生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	87,656 (87,086)	—	—	—
北生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	105,241 (104,231)	—	—	—
西生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	73,482 (72,980)	—	—	—
中村生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	69,418 (68,970)	—	—	—
中生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	68,448 (67,813)	—	—	—
昭和生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	51,612 (51,175)	—	—	—
瑞穂生涯学習センター	令和 2 年度 ～令和 6 年度	65,223 (64,792)	—	—	—
熱田生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	57,285 (56,998)	—	—	—
港生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	50,628 (50,380)			
南生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	76,932 (76,483)			
名東生涯学習センター	平成 30 年度 ～令和 4 年度	65,311 (64,776)	—	—	—
小計		771,236 (765,684)	—	—	—
合計		4,965,220 (4,801,472)	590,354 (561,926)	525,618 (499,215)	

※ トレーニング室及び温水プールについては、利用者数の内数

※ () 内の利用者数は、拡大した施設営業日の利用者数を含めない人数

※ 総合体育館（第 2 競技場・サンホール・レインボープール）、瑞穂運動場（陸上競技場・北陸上競技場・野球場・温水プール）、枇杷島スポーツセンター、名東スポーツセンター（会議室）、南陽プール（温水プール）、西生涯学習センター（体育室）、昭和生涯学習センター、熱田生涯学習センター（体育室）、北生涯学習センターは改修工事のため一定期間休場

2 第4次経営戦略計画（令和2年度～令和4年度）における成果指標の達成状況

成果指標(単位)		令和4年度 成果	令和4年度 目標	最終目標
1	講座・教室受講率【スポーツ】 (%)	75.6	◎	75.5
2	お客様満足度 (%)	97.0	◎	96.0 以上
3	「アレルギー物質・添加物除去物資」、「地産地品物資」の 開発提案 (3年間累計物資数)	<アレルギー物質・添加 物除去物資> 29※ <地産地品物資> 2※	◎	26
4	協会ホームページの総ペー ジアクセス件数 (千件)	8,465		12,500
5	利用料金収入 (%)	87.5		103.0
6	自主事業収入 (千円)	45,805	◎	41,000
7	新規協働事業数【スポーツ】 (3年間累計事業数)	51	◎	44
8	連携団体数【トワイライト】 (団体数)	28	◎	27
9	母語アシスタント設置校数【ト ワイライト】 (学校数)	10	◎	10
10	自主学習グループ活用事業 数【生涯】 (3年間累計事業数)	38	◎	36
11	障がい者スポーツ指導員有資 格者数 (人)	83	◎	80

◎＝年度目標と最終目標を達成している ○＝最終目標を達成している （令和5年3月末日現在）

※ 1物資が両方に該当

3 加盟団体・賛助会員一覧

加盟団体数	
令和4年度	令和3年度
55団体	55団体

【内訳】

加盟競技団体			
令和4年度		令和3年度	
39団体		39団体	
1	陸上競技	1	陸上競技
2	水泳	2	水泳
3	ソフトテニス	3	ソフトテニス
4	卓球	4	卓球
5	バレーボール	5	バレーボール
6	バスケットボール	6	バスケットボール
7	軟式野球	7	軟式野球
8	サッカー	8	サッカー
9	柔道	9	柔道
10	剣道	10	剣道
11	バドミントン	11	バドミントン
12	弓道	12	弓道
13	相撲	13	相撲
14	庭球	14	庭球
15	ソフトボール	15	ソフトボール
16	ハンドボール	16	ハンドボール
17	スキー	17	スキー
18	スケート	18	スケート
19	ホッケー	19	ホッケー
20	ボート	20	ボート
21	ラグビーフットボール	21	ラグビーフットボール
22	自転車競技	22	自転車競技
23	体操	23	体操
24	フェンシング	24	フェンシング
25	レスリング	25	レスリング
26	ウェイトリフティング	26	ウェイトリフティング
27	アマチュアボクシング	27	アマチュアボクシング
28	ヨット	28	ヨット
29	山岳	29	山岳
30	アーチェリー	30	アーチェリー
31	ボウリング	31	ボウリング
32	空手道	32	空手道
33	少林寺拳法	33	少林寺拳法
34	日本拳法	34	日本拳法
35	アイスホッケー	35	アイスホッケー
36	ドッジボール	36	ドッジボール
37	バトン	37	バトン
38	バウンドテニス	38	バウンドテニス
39	綱引	39	綱引

[illegible]

賛助会員数推移			
	令和4年度	令和3年度	増減
法 人	51	52	▲ 1
競技団体	28	31	▲ 3
地域団体	3	3	0
個 人	4	4	0
合 計	86	90	▲ 4

敬称略

法 人			
1	学校法人 愛知学院	31	学校法人 東海学園
2	(株) 愛知銀行	32	東海クリエイト (株)
3	愛知県ボウリング場協会名古屋支部	33	東海廣告 (株)
4	愛知ダイハツ (株)	34	東洋グリーン (株)
5	愛知日野自動車 (株)	35	東レ (株) 愛知工場
6	(株) アダチャー	36	名古屋掖済会病院
7	石黒体育施設 (株)	37	(株) 名古屋銀行
8	(株) 伊藤建築設計事務所	38	名古屋姉妹友好都市協会
9	岩間造園 (株)	39	公益社団法人 名古屋青年会議所
10	(株) 江口巖商店	40	学校法人 名古屋電気学園
11	(株) A Tグループ	41	ニシウラ建設 (株)
12	OMC (株)	42	(株) 坂角総本舗
13	鹿島建設 (株) 中部支店	43	パイロットインキ (株)
14	加藤徽章店	44	パナソニックEWエンジニアリング (株) 中部支店
15	(株) 加藤商会	45	パナソニック (株) エレクトリックワークス社 中部電材営業部
16	医療法人 香流会 絃仁病院	46	パナソニック コネクト (株) 現場ソリューションカンパニー 中日本社
17	(株) キスラ	47	東山遊園 (株)
18	近藤産興 (株)	48	(株) 星が丘自動車学校
19	(株)三光	49	丸丹スポーツ用品 (株)
20	サンメッセ (株) 名古屋支店	50	幹配電 (株)
21	(株) シーールズ	51	(株) 名立
22	清水建設 (株) 名古屋支店		
23	(株) J P N		
24	椙山女学園大学		
25	スポーツプラザ トキワ		
26	(株) 住ゴム産業 中部支店		
27	(株) 設幸工務店		
28	(株) 竹中工務店 名古屋支店		
29	中京大学		
30	(株) テツコーポレーション		

競技団体			
1	名古屋市陸上競技協会	21	名古屋市バトン協会
2	(一社) 愛知水泳連盟 (2件)	22	名古屋市バウンドテニス協会
3	(一社) 名古屋市水泳連盟 (3件)	23	名古屋市綱引連盟
4	名古屋市ソフトテニス連盟 (2件)		
5	名古屋市卓球協会		
6	名古屋市バレーボール協会		
7	名古屋市軟式野球連盟		
8	名古屋市剣道連盟		
9	名古屋市バドミントン協会 (2件)		
10	名古屋弓道協会		
11	名古屋市庭球協会		
12	名古屋市ソフトボール協会		
13	名古屋市スケート協会		
14	名古屋市ホッケー協会		
15	名古屋市ラグビーフットボール協会		
16	名古屋ウエイトリフティング協会		
17	名古屋市アーチェリー協会		
18	名古屋市少林寺拳法協会		
19	日本拳法全国連盟中部日本本部		
20	名古屋市ドッジボール協会		(23団体 28件)
地域団体		個人	
1	名古屋市熱田区体育協会		(4名)
2	名古屋市守山区体育協会		
3	名古屋市名東区体育協会		

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

Ⅱ 収支決算

収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,502	297,000	△ 1,498
(2)特定資産運用益	303,000	304,000	△ 1,000
(3)受取会費	5,203,890	5,264,000	△ 60,110
(4)受取受託金	2,905,092,796	2,912,519,000	△ 7,426,204
(5)受取指定管理料	2,074,308,378	2,054,253,000	20,055,378
(6)受取利用料金	1,428,454,863	1,294,402,000	134,052,863
(7)事業収益	6,555,957,313	6,590,248,000	△ 34,290,687
(8)受取補助金等	737,808,685	226,261,000	511,547,685
(9)受取負担金	14,756,178	13,982,000	774,178
(10)受取寄附金	924,111	2,000,000	△ 1,075,889
(11)雑収益	18,367,718	11,844,000	6,523,718
経常収益計	13,741,472,434	13,111,374,000	630,098,434
②経常費用			
(1)事業費	13,753,858,498	13,073,805,000	680,053,498
役員報酬	6,474,536	6,567,000	△ 92,464
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,649,222,026	3,467,902,000	181,320,026
競技スポーツ事業費	63,195,130	64,770,000	△ 1,574,870
学校開放事業費	2,915,653,455	2,880,116,000	35,537,455
野外教育事業費	231,513,198	239,369,000	△ 7,855,802
学校給食事業費	6,800,054,319	6,309,231,000	490,823,319
退職給付費用	18,236,000	37,200,000	△ 18,964,000
賞与給付費用	69,509,834	68,650,000	859,834
(2)管理費	30,127,127	37,569,000	△ 7,441,873
役員報酬	3,918,138	4,050,000	△ 131,862
事務局費	26,093,388	33,360,000	△ 7,266,612
退職給付費用	30,000	75,000	△ 45,000
賞与給付費用	85,601	84,000	1,601
経常費用計	13,783,985,625	13,111,374,000	672,611,625
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 42,513,191	0	△ 42,513,191
特定資産評価損益等	△ 1,817,000	0	△ 1,817,000
投資有価証券評価損益等	△ 2,818,000	0	△ 2,818,000
評価損益等計	△ 4,635,000	0	△ 4,635,000
当期経常増減額	△ 47,148,191	0	△ 47,148,191

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 47,148,191	0	△ 47,148,191
一般正味財産期首残高	847,157,402	867,773,000	△ 20,615,598
一般正味財産期末残高	800,009,211	867,773,000	△ 67,763,789
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	295,502	297,000	△ 1,498
一般正味財産への振替額	△ 295,502	△ 297,000	1,498
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	920,009,211	987,773,000	△ 67,763,789

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金(現金)	6,917,820	7,141,172	△ 223,352
現金預金(普通預金)	1,156,363,441	1,103,927,839	52,435,602
未 収 金	745,367,711	708,321,226	37,046,485
前 払 金	11,872,960	12,054,090	△ 181,130
棚卸資産(商品)	1,734,749	3,608,701	△ 1,873,952
流動資産合計	1,922,256,681	1,835,053,028	87,203,653
2 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0
基本財産合計	120,000,000	120,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	379,082,435	396,502,154	△ 17,419,719
退職給付引当有価証券	187,247,000	189,064,000	△ 1,817,000
退職給付積立預金	72,038,220	72,038,220	0
なごやアスリート応援基金	1,165,111	241,000	924,111
特定資産合計	639,532,766	657,845,374	△ 18,312,608
(3)その他固定資産			
諸準備積立預金	31,860,964	31,860,964	0
諸準備積立有価証券	366,057,000	368,875,000	△ 2,818,000
建 物	2,826,063	3,060,262	△ 234,199
建物附属設備	387,865	458,469	△ 70,604
什器備品	409,522	599,359	△ 189,837
ソフトウェア	449,064	898,128	△ 449,064
電話加入権	137,268	137,268	0
リース資産	2,651,971	14,988,815	△ 12,336,844
その他固定資産合計	404,779,717	420,878,265	△ 16,098,548
固定資産合計	1,164,312,483	1,198,723,639	△ 34,411,156
資 産 合 計	3,086,569,164	3,033,776,667	52,792,497
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	1,309,675,854	1,182,571,421	127,104,433
未払金(受託金収入等精算金)	61,006,307	71,897,941	△ 10,891,634
前 受 金	94,595,514	80,925,205	13,670,309
預 り 金	49,097,589	49,177,814	△ 80,225
賞与引当金	69,595,435	69,812,878	△ 217,443
リース債務	764,227	12,437,472	△ 11,673,245
流動負債合計	1,584,734,926	1,466,822,731	117,912,195
2 固定負債			
退職給付引当金	570,533,635	587,953,354	△ 17,419,719
リース債務	1,894,377	2,658,604	△ 764,227
資産除去債務	9,397,015	9,184,576	212,439
固定負債合計	581,825,027	599,796,534	△ 17,971,507
負 債 合 計	2,166,559,953	2,066,619,265	99,940,688
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	120,000,000	120,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(120,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	800,009,211	847,157,402	△ 47,148,191
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(73,203,331)	(72,279,220)	(924,111)
正味財産合計	920,009,211	967,157,402	△ 47,148,191
負債及び正味財産合計	3,086,569,164	3,033,776,667	52,792,497

貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金(現金)	6,440,098	0	477,722	0	6,917,820
現金預金(普通預金)	381,300,652	711,149,534	63,913,255	0	1,156,363,441
未 収 金	734,186,007	7,997,566	3,184,138	0	745,367,711
前 払 金	11,872,960	0	0	0	11,872,960
棚卸資産(商品)	1,492,041	242,708	0	0	1,734,749
流動資産合計	1,135,291,758	719,389,808	67,575,115	0	1,922,256,681
2 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	119,758,800	0	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	0	241,200
基本財産合計	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金	315,019,294	47,013,633	17,049,508	0	379,082,435
退職給付引当有価証券	143,397,383	33,407,989	10,441,628	0	187,247,000
退職給付積立預金	59,662,060	8,816,671	3,559,489	0	72,038,220
なごやアスリート応援基金	1,165,111	0	0	0	1,165,111
特定資産合計	519,243,848	89,238,293	31,050,625	0	639,532,766
(3)その他固定資産					
諸準備積立預金	0	0	31,860,964	0	31,860,964
諸準備積立有価証券	0	0	366,057,000	0	366,057,000
建 物	2,826,063	0	0	0	2,826,063
建物附属設備	387,865	0	0	0	387,865
什器備品	18,971	0	390,551	0	409,522
ソフトウェア	408,015	40,787	262	0	449,064
電話加入権	137,268	0	0	0	137,268
リース資産	0	0	2,651,971	0	2,651,971
その他固定資産合計	3,778,182	40,787	400,960,748	0	404,779,717
固定資産合計	643,022,030	89,279,080	432,011,373	0	1,164,312,483
資 産 合 計	1,778,313,788	808,668,888	499,586,488	0	3,086,569,164
II 負債の部					
1 流動負債					
未 払 金	1,245,506,467	60,823,597	3,345,790	0	1,309,675,854
未払金(受託金収入等精算金)	61,006,307	0	0	0	61,006,307
前 受 金	51,031,700	43,563,814	0	0	94,595,514
預 り 金	41,286,657	5,353,867	2,457,065	0	49,097,589
賞与引当金	59,534,568	9,975,266	85,601	0	69,595,435
リース債務	0	0	764,227	0	764,227
流動負債合計	1,458,365,699	119,716,544	6,652,683	0	1,584,734,926
2 固定負債					
退職給付引当金	455,403,569	91,572,884	23,557,182	0	570,533,635
リース債務	0	0	1,894,377	0	1,894,377
資産除去債務	9,397,015	0	0	0	9,397,015
固定負債合計	464,800,584	91,572,884	25,451,559	0	581,825,027
負 債 合 計	1,923,166,283	211,289,428	32,104,242	0	2,166,559,953
III 正味財産の部					
1 指定正味財産	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(0)	(0)	(0)	(120,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	△ 264,852,495	597,379,460	467,482,246	0	800,009,211
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(60,827,171)	(8,816,671)	(3,559,489)	(0)	(73,203,331)
正味財産合計額	△ 144,852,495	597,379,460	467,482,246	0	920,009,211
負債及び正味財産合計	1,778,313,788	808,668,888	499,586,488	0	3,086,569,164

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,502	295,544	△ 42
基本財産受取利息	295,502	295,544	△ 42
(2)特定資産運用益	303,000	274,834	28,166
特定資産受取利息	303,000	274,834	28,166
(3)受取会費	5,203,890	5,274,000	△ 70,110
受取競技スポーツ会費	5,203,890	5,274,000	△ 70,110
(4)受取受託金	2,905,092,796	2,854,481,294	50,611,502
受取スポーツ受託金	14,553,950	14,516,234	37,716
受取競技スポーツ受託金	409,000	0	409,000
受取学校開放受託金	2,890,129,846	2,839,965,060	50,164,786
(5)受取指定管理料	2,074,308,378	2,056,242,513	18,065,865
受取スポーツ施設指定管理料	1,514,177,721	1,524,954,435	△ 10,776,714
受取青少年交流プラザ指定管理料	145,325,215	134,269,000	11,056,215
受取生涯学習センター指定管理料	414,805,442	397,019,078	17,786,364
(6)受取利用料金	1,428,454,863	1,210,816,294	217,638,569
受取スポーツ施設利用料金	1,309,236,588	1,092,855,569	216,381,019
受取生涯学習センター利用料金	119,218,275	117,960,725	1,257,550
(7)事業収益	6,555,957,313	6,322,923,414	233,033,899
スポーツ等事業収益	161,176,734	133,266,845	27,909,889
野外教育事業収益	196,143,036	2,072,200	194,070,836
学校給食事業収益	6,198,637,543	6,187,584,369	11,053,174
(8)受取補助金等	737,808,685	213,917,097	523,891,588
受取スポーツ補助金	61,316,203	62,616,466	△ 1,300,263
受取競技スポーツ補助金等	43,141,097	42,724,349	416,748
受取野外教育補助金	36,490,590	33,198,520	3,292,070
受取学校給食補助金	596,860,795	75,377,762	521,483,033
(9)受取負担金	14,756,178	13,216,843	1,539,335
受取競技スポーツ負担金	14,756,178	13,216,843	1,539,335
(10)受取寄附金	924,111	241,000	683,111
受取寄附金	924,111	241,000	683,111
(11)雑収益	18,367,718	14,610,845	3,756,873
受取利息	1,185,496	1,156,932	28,564
雑収益	17,182,222	13,453,913	3,728,309
経常収益 計	13,741,472,434	12,692,293,678	1,049,178,756

科 目	当年度	前年度	増 減
②経常費用			
(1)事業費	13,753,858,498	12,832,548,494	921,310,004
役員報酬	6,474,536	6,338,994	135,542
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,649,222,026	3,362,110,745	287,111,281
競技スポーツ事業費	63,195,130	57,152,107	6,043,023
学校開放事業費	2,915,653,455	3,002,846,593	△ 87,193,138
野外教育事業費	231,513,198	34,047,960	197,465,238
学校給食事業費	6,800,054,319	6,268,893,559	531,160,760
退職給付費用	18,236,000	31,429,000	△ 13,193,000
賞与給付費用	69,509,834	69,729,536	△ 219,702
(2)管理費	30,127,127	35,597,945	△ 5,470,818
役員報酬	3,918,138	3,800,792	117,346
事務局費	26,093,388	31,677,811	△ 5,584,423
退職給付費用	30,000	36,000	△ 6,000
賞与給付費用	85,601	83,342	2,259
経常費用 計	13,783,985,625	12,868,146,439	915,839,186
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 42,513,191	△ 175,852,761	133,339,570
特定資産評価損益等	△ 1,817,000	△ 1,383,000	△ 434,000
投資有価証券評価損益等	△ 2,818,000	△ 346,000	△ 2,472,000
評価損益等計	△ 4,635,000	△ 1,729,000	△ 2,906,000
当期経常増減額	△ 47,148,191	△ 177,581,761	130,433,570
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 47,148,191	△ 177,581,761	130,433,570
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 47,148,191	△ 177,581,761	130,433,570
一般正味財産期首残高	847,157,402	1,024,739,163	△ 177,581,761
一般正味財産期末残高	800,009,211	847,157,402	△ 47,148,191
II 指定正味財産増減の部			
(1)基本財産運用益	295,502	295,544	△ 42
一般正味財産への振替額	△ 295,502	△ 295,544	42
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	920,009,211	967,157,402	△ 47,148,191

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,502	295,502	0	0	295,502
基本財産受取利息	0	0	0	295,502	295,502	0	0	295,502
(2)特定資産運用益	303,000	0	0	0	303,000	0	0	303,000
特定資産受取利息	303,000	0	0	0	303,000	0	0	303,000
(3)受取会費	5,203,890	0	0	0	5,203,890	0	0	5,203,890
受取競技スポーツ会費	5,203,890	0	0	0	5,203,890	0	0	5,203,890
(4)受取受託金	12,742,964	2,890,229,846	0	0	2,902,972,810	2,119,986	0	2,905,092,796
受取スポーツ受託金	12,333,964	100,000	0	0	12,433,964	2,119,986	0	14,553,950
受取競技スポーツ受託金	409,000	0	0	0	409,000	0	0	409,000
受取学校開放受託金	0	2,890,129,846	0	0	2,890,129,846	0	0	2,890,129,846
(5)受取指定管理料	1,569,086,331	395,311,545	0	0	1,964,397,876	109,910,502	0	2,074,308,378
受取スポーツ施設指定管理料	1,424,889,249	0	0	0	1,424,889,249	89,288,472	0	1,514,177,721
受取青少年交流プラザ指定管理料	144,197,082	0	0	0	144,197,082	1,128,133	0	145,325,215
受取生涯学習センター指定管理料	0	395,311,545	0	0	395,311,545	19,493,897	0	414,805,442
(6)受取利用料金	723,491,833	110,385,811	0	0	833,877,644	594,577,219	0	1,428,454,863
受取スポーツ施設利用料金	723,491,833	0	0	0	723,491,833	585,744,755	0	1,309,236,588
受取生涯学習センター利用料金	0	110,385,811	0	0	110,385,811	8,832,464	0	119,218,275
(7)事業収益	130,036,750	199,563,667	6,198,637,543	0	6,528,237,960	27,719,353	0	6,555,957,313
スポーツ等事業収益	130,036,750	3,420,631	0	0	133,457,381	27,719,353	0	161,176,734
野外教育事業収益	0	196,143,036	0	0	196,143,036	0	0	196,143,036
学校給食事業収益	0	0	6,198,637,543	0	6,198,637,543	0	0	6,198,637,543
(8)受取補助金等	104,457,300	36,490,590	596,860,795	0	737,808,685	0	0	737,808,685
受取スポーツ補助金	61,316,203	0	0	0	61,316,203	0	0	61,316,203
受取競技スポーツ補助金等	43,141,097	0	0	0	43,141,097	0	0	43,141,097
受取野外教育補助金	0	36,490,590	0	0	36,490,590	0	0	36,490,590
受取学校給食補助金	0	0	596,860,795	0	596,860,795	0	0	596,860,795
(9)受取負担金	14,756,178	0	0	0	14,756,178	0	0	14,756,178
受取競技スポーツ負担金	14,756,178	0	0	0	14,756,178	0	0	14,756,178
(10)受取寄附金	924,111	0	0	0	924,111	0	0	924,111
受取寄附金	924,111	0	0	0	924,111	0	0	924,111
(11)雑収益	5,438,943	0	1,568,713	0	7,007,656	3,508,074	7,851,988	18,367,718
受取利息	0	0	0	0	0	0	1,185,496	1,185,496
雑収益	5,438,943	0	1,568,713	0	7,007,656	3,508,074	6,666,492	17,182,222
経常収益 計	2,566,441,300	3,631,981,459	6,797,067,051	295,502	12,995,785,312	737,835,134	7,851,988	13,741,472,434
②経常費用								
(1)事業費	2,813,262,133	3,677,232,874	6,808,379,049	0	13,298,874,056	454,984,442	0	13,753,858,498
役員報酬	1,272,808	1,793,263	3,186,920	0	6,252,991	221,545	0	6,474,536
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,703,964,729	503,126,361	0	0	3,207,091,090	442,130,936	0	3,649,222,026
競技スポーツ事業費	63,195,130	0	0	0	63,195,130	0	0	63,195,130
学校開放事業費	0	2,915,653,455	0	0	2,915,653,455	0	0	2,915,653,455
野外教育事業費	0	231,513,198	0	0	231,513,198	0	0	231,513,198
学校給食事業費	0	0	6,800,054,319	0	6,800,054,319	0	0	6,800,054,319
退職給付費用	10,463,715	4,750,590	365,000	0	15,579,305	2,656,695	0	18,236,000
賞与給付費用	34,365,751	20,396,007	4,772,810	0	59,534,568	9,975,266	0	69,509,834
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	30,127,127	30,127,127
役員報酬	0	0	0	0	0	0	3,918,138	3,918,138
事務局費	0	0	0	0	0	0	26,093,388	26,093,388
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	85,601	85,601
経常費用 計	2,813,262,133	3,677,232,874	6,808,379,049	0	13,298,874,056	454,984,442	30,127,127	13,783,985,625
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 246,820,833	△ 45,251,415	△ 11,311,998	295,502	△ 303,088,744	282,850,692	△ 22,275,139	△ 42,513,191
特定資産評価損益等	△ 1,817,000	0	0	0	△ 1,817,000	0	0	△ 1,817,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 2,818,000	△ 2,818,000
評価損益等計	△ 1,817,000	0	0	0	△ 1,817,000	0	△ 2,818,000	△ 4,635,000
当期経常増減額	△ 248,637,833	△ 45,251,415	△ 11,311,998	295,502	△ 304,905,744	282,850,692	△ 25,093,139	△ 47,148,191
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
(1)固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 248,637,833	△ 45,251,415	△ 11,311,998	295,502	△ 304,905,744	282,850,692	△ 25,093,139	△ 47,148,191
他会計振替額	248,637,833	34,212,859	0	0	282,850,692	△ 282,850,692	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 11,038,556	△ 11,311,998	295,502	△ 22,055,052	0	△ 25,093,139	△ 47,148,191
一般正味財産期首残高	△ 122,805,586	△ 84,885,479	△ 41,814,529	6,708,151	△ 242,797,443	597,379,460	492,575,385	847,157,402
一般正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 95,924,035	△ 53,126,527	7,003,653	△ 264,852,495	597,379,460	467,482,246	800,009,211
II 指定正味財産増減の部								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,502	295,502	0	0	295,502
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 295,502	△ 295,502	0	0	△ 295,502
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
III 正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 95,924,035	△ 53,126,527	127,003,653	△ 144,852,495	597,379,460	467,482,246	920,009,211

(注) 公1: 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
公2: 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
公3: 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業
公共通: 公益目的事業全体に係るもの
収益: 管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業
法人会計: 法人の運営に係るもの

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券：償却原価法(定額法)を採用している。

なお、取得差額が少額であり重要性が乏しい銘柄については償却原価法を適用していない。

その他有価証券：決算期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法(収益性低下による簿価切り下げの方法)を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産：定率法による減価償却を実施している。

②リース資産：

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金：当法人の賞与支給規定に基づき職員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金：期末退職給付の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

○ 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳 (単位:円)

退職給付引当金	570,533,635
---------	-------------

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

退職給付費用	18,266,000
--------	------------

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	241,200
小 計	120,000,000	0	0	120,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	396,502,154	0	17,419,719	379,082,435
退職給付引当有価証券	189,064,000	0	1,817,000	187,247,000
退職給付積立預金	72,038,220	0	0	72,038,220
なごや アスリート応援基金	241,000	924,111	0	1,165,111
小 計	657,845,374	924,111	19,236,719	639,532,766
合 計	777,845,374	924,111	19,236,719	759,532,766

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産か らの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0	0
小 計	120,000,000	120,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	379,082,435	0	0	379,082,435
退職給付引当有価証券	187,247,000	0	0	187,247,000
退職給付積立預金	72,038,220	0	72,038,220	0
なごや アスリート応援基金	1,165,111	0	1,165,111	0
小 計	639,532,766	0	73,203,331	566,329,435
合 計	759,532,766	120,000,000	73,203,331	566,329,435

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	9,164,470	6,338,407	2,826,063
建物附属設備	983,864	595,999	387,865
什 器 備 品	1,424,996	1,015,474	409,522
リース資産	3,880,932	1,228,961	2,651,971
合 計	15,454,262	9,178,841	6,275,421

7 リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

高速カラー印刷機である。

8 保証債務等の偶発債務

該当なし。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	59,965,200	60,288,000	322,800
広島県公募公債	29,852,700	29,958,000	105,300
浜松市公募公債	29,940,900	29,757,000	△ 183,900
合 計	119,758,800	120,003,000	244,200

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区分
スポーツ振興事業 推進補助金	名古屋市	0	102,832,500	102,832,500	0	
教育振興事業推進 補助金	名古屋市	0	76,589,261	76,589,261	0	
食材料費補助金	名古屋市	0	520,271,534	520,271,534	0	
野外教育事業推進 補助金	名古屋市	0	34,832,026	34,832,026	0	
小中学生科学教室 開催事業費補助金	名古屋市	0	1,658,564	1,658,564	0	
体育協会負担金	名古屋市	0	14,756,178	14,756,178	0	
体育協会交付金	愛知県 スポーツ協会	0	1,215,800	1,215,800	0	
スポーツ振興くじ 助成金	日本スポーツ 振興センター	0	409,000	409,000	0	
なごや アスリート応援基金	一般寄附者	241,000	924,111	0	1,165,111	一般正味財産
合 計		241,000	753,488,974	752,564,863	1,165,111	

11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替	
基本財産受取利息	295,502

12 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	69,812,878	69,595,435	69,812,878		69,595,435
退職給付引当金	587,953,354	18,266,000	35,685,719		570,533,635

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載の為、省略している。

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金(現金)	手元保管	運転資金として	6,917,820	
	現金預金(普通預金)	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	運転資金等として	841,627,024	
		決済用普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	129,351,160	
		普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	9,975,694	
		郵便振替口座	運転資金として	175,409,563	
	未収金	ゆうちょ銀行 比々野郵便局 名古屋市等からの未収金	受託事業等に対するもの	745,367,711	
	前払金	保険料等の前払金	傷害保険等の前払い	11,872,960	
	棚卸資産(商品)	スポーツ施設利用券 DVD	スポーツ・レクリエーション施設運営のため スポーツ普及のため	1,519,775 214,974	
流動資産合計			1,922,256,681		
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	59,965,200	
		広島県公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	29,852,700	
		浜松市公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	29,940,900	
	基本財産引当預金	定期預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	241,200	
		退職給付引当預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	379,082,435
			退職給付引当有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券	退職金の支払いに備えたもの
	退職給付積立預金			北海道公募公債	退職金の支払いに備えたもの
		なごやか市民債		退職金の支払いに備えたもの	50,040,000
		国際協力機構債	退職金の支払いに備えたもの	48,205,000	
		決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	72,038,220	
		なごやアスリート応援基金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、アスリートの育成に活用するためのもの	1,165,111
	その他 固定資産	諸準備積立預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	大災害による損害等に備えたもの	31,860,964
		諸準備積立有価証券	広島県公債	大災害による損害等に備えたもの	69,902,000
			三菱UFJリース	大災害による損害等に備えたもの	99,250,000
			プレミアム投資法人債	大災害による損害等に備えたもの	99,890,000
			北海道公募公債	大災害による損害等に備えたもの	48,810,000
			国際協力機構債	大災害による損害等に備えたもの	48,205,000
建物		名古屋市中熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	公益目的保有財産であり、学校給食事業の施設として使用している。	2,826,063	
建物附属設備		冷凍設備等	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	387,865	
什器備品		電話設備等	学校給食事業やスポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業に使用している。	409,522	
ソフトウェア		勤怠システム	職員等の出退勤等の管理に使用している。	449,064	
電話加入権		電話4基	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	137,268	
リース資産	高速カラー印刷機	施設の管理運営事業等に使用している。	2,651,971		
固定資産合計			1,164,312,483		
資産合計			3,086,569,164		
(流動負債)	未払金	取引先等に対する未払金 名古屋市中に対する未払金	委託料等の未払い分 受託金収入等精算金	1,309,675,854 61,006,307	
	前受金	利用者等からの前受金	施設使用料等	94,595,514	
	預り金	従業員からの預り金	社会保険料等	49,097,589	
	賞与引当金	従業員に対するもの	次年度賞与の当年度経過分	69,595,435	
	リース債務	高速カラー印刷機	施設の管理運営事業等に使用している。	764,227	
	流動負債合計			1,584,734,926	
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	退職金の支払いに備えたもの	570,533,635	
	リース債務	高速カラー印刷機	施設の管理運営事業等に使用している。	1,894,377	
	資産除去債務	名古屋市中熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	原状回復義務に伴うもの	9,397,015	
固定負債合計			581,825,027		
負債合計			2,166,559,953		
正味財産			920,009,211		

〔 参 考 資 料 〕

I 加盟団体一覧（令和5年7月1日現在）

競技団体
名古屋市陸上競技協会
名古屋市水泳連盟
名古屋市ソフトテニス連盟
名古屋市卓球協会
名古屋市バレーボール協会
名古屋市バスケットボール協会
名古屋市軟式野球連盟
名古屋サッカー協会
名古屋柔道協会
名古屋市剣道連盟
名古屋市バドミントン協会
名古屋弓道協会
名古屋市相撲連盟
名古屋市庭球協会
名古屋市ソフトボール協会
名古屋市ハンドボール協会
名古屋市スキー協会
名古屋市スケート協会
名古屋市ホッケー協会
名古屋市ボート協会
名古屋市ラグビーフットボール協会
名古屋市自転車競技連盟
名古屋市体操協会
名古屋市フェンシング協会
名古屋市レスリング協会
名古屋ウエイトリフティング協会
名古屋市アマチュアボクシング連盟
名古屋市ヨット連盟
名古屋市山岳連盟
名古屋市アーチェリー協会

競技団体
名古屋市ボウリング協会
名古屋市空手道連盟
名古屋市少林寺拳法協会
名古屋市日本拳法連盟
名古屋市アイスホッケー連盟
名古屋市ドッジボール協会
名古屋市バトン協会
名古屋市バウンドテニス協会
名古屋市綱引連盟
名古屋市ライフフィットネス連盟

(40団体)

地域団体
名古屋市千種区体育協会
名古屋市東区体育協会
名古屋市北区体育協会
名古屋市西区体育協会
名古屋市中村区体育協会
名古屋市中区体育協会
名古屋市昭和区体育協会
名古屋市瑞穂区体育協会
名古屋市熱田区体育協会
名古屋市中川区体育協会
名古屋市港区体育協会
名古屋市南区体育協会
名古屋市守山区体育協会
名古屋市緑区体育協会
名古屋市名東区体育協会
名古屋市天白区体育協会

(16団体)

Ⅱ 名古屋市のスポーツ施設等一覧（令和５年７月１日現在）

i （公財）名古屋市教育スポーツ協会が管理するスポーツ施設

施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
総合体育館	レインボーホール等	(052)614-3111	(052)614-3120	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６
	レインボープール等	(052)614-6211	(052)614-6215	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の５
	サンホール	(052)614-3131	(052)614-3132	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６
露橋スポーツセンター		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0022	中川区露橋二丁目１４番１号
枇杷島スポーツセンター		(052)532-4121	(052)522-8520	〒451-0053	西区枇杷島一丁目１番２号
稲永スポーツセンター		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0845	港区野跡五丁目１番１０号
北スポーツセンター		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0021	北区成願寺一丁目６番１２号
中村スポーツセンター		(052)413-8021	(052)413-8023	〒453-0053	中村区中村町字待屋４３番地の１
名東スポーツセンター		(052)705-4948	(052)705-4952	〒465-0067	名東区猪高町大字高針字勢子坊３０７番地の１２
中スポーツセンター		(052)232-2327	(052)232-2364	〒460-0008	中区栄一丁目３０番１０号
南陽プール		(052)303-2015	(052)303-2016	〒455-0855	港区藤前四丁目７０１番地
山田西プール		(052)503-5151	(052)503-5272	〒452-0838	西区長先町１７３番地
富田北プール		(052)431-8991	(052)431-1466	〒454-0981	中川区吉津四丁目３２０１番地
黒川スポーツトレーニングセンター		(052)982-2770	(052)982-2775	〒462-0844	北区清水四丁目１７番１７号
港サッカー場		(052)384-0550	(052)384-7680	〒455-0845	港区野跡四丁目１１番１２号
港プール		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0804	港区当知一丁目１４０１番地
中川プール		(052)413-8021	(052)413-8023	〒454-0851	中川区北江町３丁目１番地
楠プール		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0006	北区若鶴町１２６
山田プール		(052)532-4121	(052)522-8520	〒452-0806	西区五才美町２３６-１
富田プール		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0958	中川区東かの里町８０９番地
スポーツ情報センター		(052)614-7511	(052)614-7515	〒457-0833	南区東又兵ヱ町５丁目１番地の１６

※ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称は日本ガイシ スポーツプラザ、港サッカー場の愛称はＣＳアセット 港サッカー場です。

ii 他の管理者が管理するスポーツ施設

施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
瑞穂運動場		(052)836-8200	(052)836-8206	〒467-0062	瑞穂区山下通５丁目１番地（陸上競技場内）
市体育館		(052)872-6655	(052)872-6657	〒456-0023	熱田区六野二丁目５番３号
天白スポーツセンター		(052)806-0551	(052)806-1164	〒468-0051	天白区植田三丁目１５０２番地
緑スポーツセンター		(052)891-7775	(052)891-7779	〒458-0033	緑区相原郷一丁目２９０１番地
千種スポーツセンター		(052)782-0700	(052)782-6700	〒464-0808	千種区星が丘山手１２１番地
東スポーツセンター		(052)723-0411	(052)723-0440	〒461-0047	東区大幸南一丁目１番１０号
昭和スポーツセンター		(052)733-6831	(052)733-6832	〒466-0000	昭和区吹上二丁目６番１５号
守山スポーツセンター		(052)792-7066	(052)792-7067	〒463-0801	守山区竜泉寺二丁目１１２番地
志段味スポーツランド		(052)736-3766	(052)736-3772	〒463-0003	守山区大字下志段味字生下り２２８７番地の１
鳴海プール		(052)891-9314	(052)891-4301	〒458-0847	緑区浦里一丁目６６番地
香流橋プール		(052)773-5311	(052)773-5805	〒464-0002	千種区香流橋一丁目２番３５号
名城庭球場		(052)912-3321	(052)912-3196	〒462-0846	北区名城一丁目３番３号
上社レクリエーションルーム		(052)771-0021	(052)760-1230	〒465-0025	名東区上社一丁目８０２番地
熱田プール		(052)882-8091	(052)882-8091	〒456-0023	熱田区六野二丁目５番２号
守山プール		(052)794-1319	(052)794-1319	〒463-0083	守山区村合町１９７番地

※ネーミングライツ（命名権）の導入により、瑞穂運動場の愛称はパロマ瑞穂スポーツパークです。

iii



iv 他の管理者が管理する青少年施設

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
青少年交流プラザ	(052)991-8440	(052)991-8441	〒462-0845	北区柳原三丁目 6 番 8 号
青少年宿泊センター (青少年交流プラザ分館)	(052)624-4401	(052)624-4403	〒459-8001	緑区大高町字蝮池 4 番地の 6

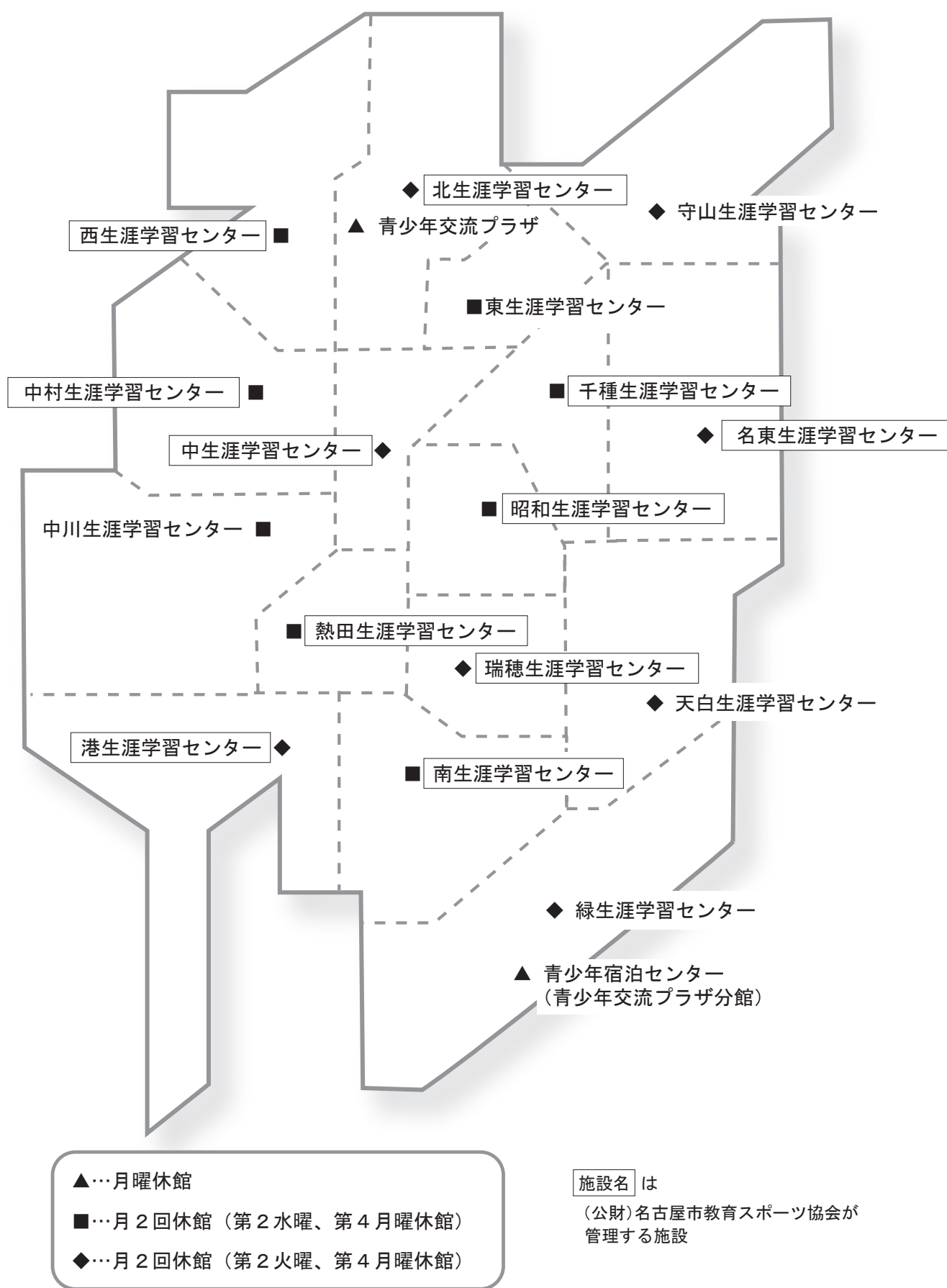
v (公財)名古屋市教育スポーツ協会が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
千種生涯学習センター	(052)722-9666	(052)722-9696	〒464-0072	千種区振甫町 3 丁目 34 番地
北生涯学習センター	(052)981-3636	(052)981-3590	〒462-0841	北区黒川本通 2 丁目 16 番地の 3
西生涯学習センター	(052)532-1551	(052)532-1552	〒451-0061	西区浄心一丁目 1 番 45 号
中村生涯学習センター	(052)471-8121	(052)471-8122	〒453-0044	中村区鳥居通 3 丁目 1 番地の 3
中生涯学習センター	(052)321-5511	(052)321-5512	〒460-0016	中区橘一丁目 7 番 11 号
昭和生涯学習センター	(052)852-1144	(052)852-1143	〒466-0023	昭和区石仏町 1 丁目 48 番地
瑞穂生涯学習センター	(052)871-2255	(052)871-2256	〒467-0831	瑞穂区惣作町 2 丁目 27 番地の 3
熱田生涯学習センター	(052)671-7231	(052)671-7232	〒456-0036	熱田区熱田西町 2 番 13 号
港生涯学習センター	(052)653-5171	(052)653-5172	〒455-0013	港区港陽一丁目 10 番 18 号
南生涯学習センター	(052)613-1310	(052)613-1326	〒457-0833	南区東又兵衛町 5 丁目 1 番地の 10
名東生涯学習センター	(052)703-2622	(052)703-2732	〒465-0051	名東区社が丘三丁目 802 番地

vi 他の管理者が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
東生涯学習センター	(052)932-4881	(052)932-4882	〒461-0004	東区葵一丁目 3 番 21 号
中川生涯学習センター	(052)362-3883	(052)362-3890	〒454-0037	中川区富川町 1 丁目 2 番地の 12
守山生涯学習センター	(052)791-7161	(052)791-7162	〒463-0067	守山区守山三丁目 2 番 6 号
緑生涯学習センター	(052)621-9121	(052)621-6915	〒458-0801	緑区鳴海町字本町 54 番地
天白生涯学習センター	(052)802-1161	(052)802-1162	〒468-0027	天白区天白町大字島田字黒石 4050 番地

vii 名古屋市の生涯学習センター等 所在地概略図



Ⅲ 学校開放事業一覧

ⅰ トワイライトスクール及びトワイライトルーム事業

1 概要（令和5年7月1日現在）

トワイライトスクール			トワイライトルーム		
事業名	トワイライトスクール		事業名	トワイライトルーム	
実施校	201校		実施校	49校	
活動場所	放課後学級ルーム、体育館及び運動場等		活動場所	プレイルーム、ライフルーム、体育館及び運動場等	
事業趣旨	児童の学校外活動として実施		事業趣旨	児童の学校外活動、留守家庭児童への活動支援	
参加対象	参加を希望する児童		参加対象	参加を希望する児童 （選択事業登録は別途登録が必要）	
活動時間	授業のある日	授業終了後～18時	活動時間	授業のある日	授業終了後～17時 （授業終了後～19時）
	授業のない日 （土曜日・長期休業期間中）	9時～18時 *日曜日、休日及び年末年始は休み		授業のない日 （土曜日）	9時～17時 （9時～18時） *休日及び年末年始は休み
				授業のない日 （土曜日を除く）	8時～17時 （8時～19時） *日曜日、休日及び年末年始は休み
保護者負担	一般登録	参加無料（ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり）	保護者負担	一般登録	参加無料（ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり）
				選択事業登録	上記に加えて、選択事業登録利用料 月額 ～18時1,500円、～19時6,500円

※（ ）は、選択事業登録の活動時間

2 実施校の推移（令和5年7月1日現在）

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		計	うち生涯 学習開放
		うち生涯 学習開放		うち生涯 学習開放		
26	219	27	24		243	27
27	214	27	28		242	27
28	206	26	36	1	242	27
29	204	25	41	2	245	27
30	206	25	46	2	252	27
R1	205	25	47	2	252	27
R2	204	25	48	2	252	27
R3	204	25	50	2	254	27
R4	202	24	50	3	252	27
R5	201	24	49	3	250	27

3 参加登録者等の推移

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		生涯学習開放	
	校数	参加登録者数	校数	参加登録者数	校数	利用者数
26	219	47,220	24	5,692	27	254,681
27	214	46,952	28	6,885	27	276,981
28	206	45,372	36	8,870	27	272,114
29	204	44,976	41	10,586	27	262,116
30	206	44,814	46	11,760	27	272,329
R1	205	44,000	47	12,368	27	266,706
R2	204	36,238	48	10,954	27	17,381
R3	204	35,281	50	10,618	27	116,425
R4	202	33,774	50	10,412	27	179,220

4 実施状況（小学校250校（令和5年7月1日現在））

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
千種	内山小	H18. 5. 19	
	春岡小	H10. 9. 4	
	千種小	H15. 5. 19	
	高見小	H12. 6. 12	
	大和小	H19. 5. 24	
	田代小	H14. 6. 5	
	上野小	H11. 7. 16	
	東山小	H12. 5. 19	
	自由ヶ丘小	H20. 6. 27	
	千石小	H21. 3. 10	
	富士見台小	H14. 5. 29	H26. 4. 1
	星ヶ丘小	H18. 5. 11	
	宮根小	H16. 5. 31	
	千代田橋小	H17. 6. 13	
	見付小	H13. 5. 31	
東	旭丘小	H14. 10. 17	
	筒井小	H12. 5. 8	
	東桜小	H19. 6. 4	
	矢田小	H11. 11. 1	
	山吹小	H14. 6. 3	H29. 4. 1
	東白壁小	H16. 5. 27	
	葵 小	H18. 5. 25	H30. 4. 1
	明倫小	H17. 6. 30	
	砂田橋小	H13. 6. 7	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
北	飯田小	H16. 5. 11	
	大杉小	H20. 5. 27	
	清水小	H12. 6. 1	
	杉村小	H19. 5. 31	
	名北小	H14. 6. 3	H28. 4. 1
	金城小	H11. 7. 16	(H22. 1. 1) H25. 4. 1
	城北小	H13. 6. 18	
	六郷小	H19. 5. 28	
	楠 小	H19. 6. 21	
	光城小	H14. 5. 13	
	東志賀小	H19. 6. 21	
	味鋤小	H18. 6. 1	R4. 4. 1
	西味鋤小	H17. 6. 9	
	楠西小	H15. 6. 19	
	如意小	H10. 9. 3	
	宮前小	H12. 4. 22	H26. 4. 1
	川中小	H18. 6. 1	
	六郷北小	H18. 5. 11	
	辻 小	H13. 5. 19	
西	榎 小	H15. 6. 5	
	栄生小	H19. 5. 31	
	上名古屋小	H17. 6. 16	
	城西小	H13. 6. 1	
	児玉小	H9. 10. 9	R3. 4. 1
	枇杷島小	H18. 5. 29	
	南押切小	H19. 6. 7	
	庄内小	H12. 5. 13	
	稲生小	H13. 6. 16	
	山田小	H18. 6. 1	
	平田小	H11. 9. 20	H27. 4. 1
	比良小	H17. 2. 3	
	大野木小	H19. 5. 24	
	浮野小	H14. 6. 3	
	比良西小	H12. 5. 29	
	中小田井小	H20. 6. 10	
	なごや小		H29. 5. 1

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
中村	中村小	H18. 5. 25	
	牧野小	H13. 5. 14	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	米野小	H19. 5. 17	
	日比津小	H19. 4. 23	
	柳 小	H12. 5. 29	
	稲葉地小	H11. 7. 14	
	日吉小	H16. 5. 20	
	岩塚小	H12. 5. 11	H26. 4. 1
	豊臣小	H14. 5. 16	
	千成小	H15. 5. 19	
	諏訪小	H10. 9. 3	
	稲西小	H18. 5. 22	
	八社小	H13. 5. 28	H25. 4. 1
	ほのか小	H17. 6. 21	H26. 4. 1
	笹島小	H22. 4. 12	
15校	栄 小	H11. 7. 2	
	松原小	H12. 5. 25	
	橘 小	H18. 5. 25	
	平和小	H14. 6. 6	
	老松小	H17. 5. 26	
	大須小	H13. 5. 28	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	正木小	H19. 6. 18	H29. 4. 1
	千早小	H15. 5. 29	
	丸の内小	R5. 4. 1	
中	鶴舞小	H10. 7. 13	
	吹上小	H17. 6. 6	
	村雲小	H18. 6. 8	
	松栄小	H16. 5. 18	H26. 4. 1
	御器所小	H11. 10. 7	
	広路小	H12. 5. 11	(H22. 1. 1) H25. 4. 1
	八事小	H20. 6. 13	
	白金小	H13. 5. 14	
	滝川小	H19. 5. 31	
9校	瑞穂	弥富小	H11. 9. 8 H25. 4. 1
		御劔小	H16. 5. 13
		堀田小	H13. 6. 21
		汐路小	H12. 5. 13
		高田小	H14. 5. 30 H28. 4. 1
		瑞穂小	H18. 5. 22
		井戸田小	H15. 5. 26
		穂波小	H10. 9. 3
		豊岡小	H18. 6. 12
昭和		陽明小	H13. 5. 24
		中根小	H18. 5. 18
		高蔵小	H10. 7. 16 (H21. 4. 1) H25. 4. 1
		旗屋小	H11. 7. 13
		千年小	H17. 5. 30
		船方小	H12. 6. 15 H. 25. 4. 1
		白鳥小	H15. 6. 16
		野立小	H20. 6. 17
		大宝小	H18. 6. 1 H28. 4. 1
瑞穂			
11校			
熱田			
7校			

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
中川	広見小	H19. 9. 20	
	露橋小	H16. 6. 10	
	愛知小	H13. 5. 28	
	八熊小	H15. 6. 9	
	昭和橋小	H11. 7. 15	
	常磐小	H18. 5. 29	
	八幡小	H15. 6. 19	H27. 4. 1
	荒子小	H14. 6. 6	
	正色小	H19. 5. 21	
	篠原小	H18. 6. 19	
	戸田小	H14. 5. 23	H27. 4. 1
	豊治小	H19. 5. 17	
	千音寺小	H18. 6. 12	H28. 4. 1
	長須賀小	H20. 5. 30	
	万場小	H16. 5. 24	
	野田小	H15. 6. 2	
	明正小	H19. 5. 17	
	中島小	H12. 5. 22	
	玉川小	H19. 5. 21	
	西中島小	H19. 5. 21	
	五反田小	H13. 5. 17	
	春田小	H12. 6. 26	
	赤星小	H20. 5. 23	
	西前田小	H17. 6. 24	
24校	東築地小	H15. 6. 13	
	中川小	H19. 5. 10	
	大手小	H17. 4. 21	
	港西小	H13. 5. 31	
	小碓小	H15. 5. 26	H30. 4. 1
	西築地小	H19. 6. 21	
	高木小	H19. 6. 18	
	南陽小	H12. 5. 29	H25. 4. 1
	港楽小	H18. 5. 29	
港	成章小	H18. 5. 25	
	明德小	H9. 10. 28	
	稲永小	H13. 6. 21	H26. 4. 1
	東海小	H16. 5. 24	
	野跡小	H17. 5. 19	
	当知小	H19. 6. 14	
	正保小	H12. 5. 8	
	神宮寺小	H11. 9. 3	
	西福田小	H14. 5. 15	
	福田小	H16. 6. 17	
	福春小	H18. 4. 1	
	豊田小	H13. 6. 7	
	明治小	H15. 5. 26	
	呼続小	H16. 6. 3	
	白水小	H12. 5. 30	
	桜 小	H17. 5. 23	
	道德小	H13. 6. 9	
	笠寺小	H12. 6. 1	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大生小	H15. 5. 19	
	大磯小	H14. 6. 3	
20校	千鳥小	H18. 5. 18	
	菊住小	H11. 7. 14	R2. 7. 1
	宝 小	H21. 1. 20	
	柴田小	H19. 6. 14	
	伝馬小	H14. 5. 16	
	星崎小	H19. 7. 2	
	春日野小	H18. 6. 8	
	笠東小	H18. 6. 8	
	宝南小	H21. 1. 16	
南			
18校			

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
守山	大森小	H16. 5. 10	
	小幡小	H12. 6. 26	H29. 4. 1
	守山小	H12. 6. 15	H28. 4. 1
	廿軒家小	H15. 5. 22	
	鳥羽見小	H20. 6. 27	
	瀬古小	H18. 6. 29	
	志段味東小	H14. 10. 7	
	志段味西小	H20. 6. 6	H30. 4. 1
	白沢小	H14. 6. 20	
	苗代小	H25. 4. 12	
	天子田小	H13. 6. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	二城小	H20. 6. 3	
	森孝東小	H21. 1. 30	
	森孝西小	H11. 9. 2	
	西城小	H19. 6. 1	
	大森北小	H13. 5. 21	
	小幡北小	H10. 7. 15	H27. 4. 1
	吉根小	H19. 6. 21	
	下志段味小	H24. 4. 9	
	上志段味小	R3. 4. 6	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
緑	鳴海小	H12. 5. 15	
	平子小	H15. 5. 22	
	鳴海東部小	H18. 5. 31	H31. 4. 1
	東丘小	H19. 6. 21	
	鳴子小	H19. 5. 28	
	有松小	H20. 7. 11	H25. 4. 1
	大高小	H14. 5. 20	
	緑 小	H19. 6. 18	
	片平小	H15. 5. 29	
	戸笠小	H13. 5. 31	H30. 4. 1
	太子小	H18. 5. 11	
	旭出小	H14. 5. 27	
	浦里小	H11. 7. 15	
	黒石小	H19. 5. 24	H28. 4. 1
	長根台小	H16. 6. 10	
	桶狭間小	H18. 6. 8	
	相原小	H13. 5. 14	
	桃山小	H17. 5. 26	
	南陵小	H12. 11. 18	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大高南小	H24. 6. 28	
	徳重小	H20. 10. 31	
	滝ノ水小	H17. 6. 9	
	大清水小	H20. 6. 27	
	常安小	H10. 7. 13	
	小坂小	H15. 6. 30	H26. 4. 1
	熊の前小	H20. 6. 20	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
名東	猪高小	H14. 6. 17	
	藤が丘小	H16. 5. 28	H28. 4. 1
	香流小	H20. 5. 16	H28. 4. 1
	猪子石小	H18. 5. 25	
	高針小	H15. 5. 19	
	西山小	H11. 10. 1	
	名東小	H20. 6. 3	
	梅森坂小	H17. 5. 23	H26. 4. 1
	本郷小	H12. 4. 10	
	上社小	H14. 5. 20	
	豊が丘小	H19. 6. 4	
	引山小	H12. 6. 15	
	極楽小	H10. 9. 2	R4. 4. 1
	平和が丘小	H13. 5. 24	
	前山小	H13. 5. 17	
16校	牧の原小	H18. 5. 15	
天白	野並小	H12. 4. 27	
	高坂小	H25. 4. 12	
	八事東小	H16. 4. 26	
	表山小	H18. 5. 25	
	平針小	H15. 5. 15	H29. 4. 1
	平針南小	H24. 6. 18	
	植田小	H21. 11. 2	
	しまだ小	H24. 6. 21	
	山根小	H17. 6. 9	
	相生小	H14. 6. 3	
15校	大坪小	H15. 6. 5	H29. 4. 1
	原 小	H19. 6. 12	
	植田南小	H21. 11. 26	
	平針北小	H13. 6. 18	
	植田北小	H18. 5. 29	

ii 学校開放事業の概要（令和5年7月1日現在）

事業名		生涯学習開放
開放校		見付小、高見小、旭丘小、矢田小、山吹小、比良西小、諏訪小、松原小、吹上小、滝川小、穂波小、八熊小、春田小、明德小、東海小、神宮寺小、明治小、道徳小、伝馬小、守山小、森孝西小、相原小、常安小、本郷小、極楽小、表山小、相生小 計27校
開放場所		体育館、運動場、特別活動室、研修会議室、図書室、音楽室及びプール等
事業趣旨		地域の生涯学習や生涯スポーツの場を提供
参加対象		一般市民(団体・個人登録が必要)
開放時間	平日	18時～21時
	土曜日、日曜日及び休日(月曜日を除く)	9時～正午及び13時～17時
使用料		600～2,250円 図書室及びプールは無料
休業日		月曜日及び年末年始

Ⅳ 令和4年度施設利用状況

ⅰ スポーツ・レクリエーション施設

	総利用者数	レインボー ホール	レインボー アイス アリーナ	競技場				弓道 (練習) 場	アーチェリー (練習) 場	軽運動室	トレーニング (サウナ) 室
				第1競技場等 ※1	第2競技場等 ※2	第3競技場等 ※3	競技場 計				
総合体育館	1,462,164	1,041,627	19,704	0	55,874		55,874	40,437	6,805	11,906	45,560
瑞穂運動場	865,405			80,815	32,893	27,158	140,866	10,978	6,961		85,863
露橋スポーツ センター	199,428			58,597	24,226	24,930	107,753				54,708
枇杷島スポーツ センター	224,854			96,565	23,893		120,458	2,733		13,235	48,104
稲永スポーツ センター	199,017			71,312	24,787		96,099	7,492		24,099	63,528
北森スポーツ センター	206,512			51,172	20,644		71,816	3,053		14,831	54,754
中村スポーツ センター	276,308			78,387	29,627		108,014	5,871		22,325	69,371
名東スポーツ センター	248,313			63,650	31,965		95,615			17,074	66,123
港サッカー場	41,745										
南陽プール	73,880									7,730	25,407
山田西 プール	40,002										
富田北 プール	73,739				19,133		19,133				
港プール	10,641										
中川プール	3,572										
楠プール	3,953										
富田プール	4,456										
山田プール	5,680										
黒川スポーツ トレーニングセンター	96,241									19,305	76,936
青少年交流プラザ	114,481										
青少年宿泊センター	43,593										
中村生涯学 習センター	69,418										
熟田生涯学 習センター	57,285										
名東生涯学 習センター	65,311										
千種生涯学 習センター	87,656										
北森生涯学 習センター	105,241										
中村生涯学 習センター	68,448										
昭和生涯学 習センター	51,612										
瑞穂生涯学 習センター	65,223										
港生涯学 習センター	50,628										
南森生涯学 習センター	76,932										
西森生涯学 習センター	73,482										
計	4,965,220	1,041,627	19,704	500,498	263,042	52,088	815,628	70,564	13,766	130,505	590,354

※1 総合体育館第2競技場を含む

※2 総合体育館第3競技場及び富田北プール体育室、露橋柔道場を含む

※3 露橋剣道場を含む

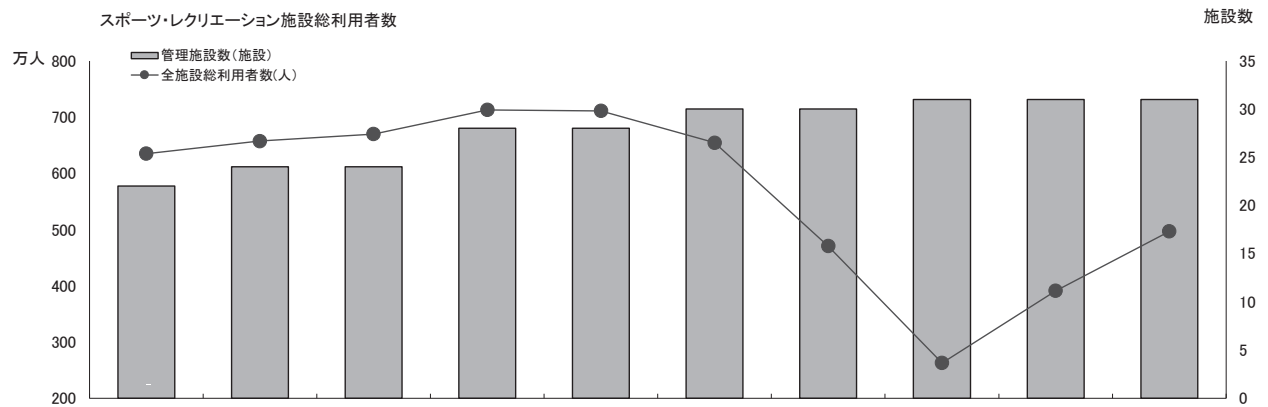
※4 総合体育館貴賓室・飛込練習室・宿泊研修室・選手控室・サンホール・研修室・会議室・和室の利用、瑞穂運動場宿泊研修室・会議室の利用
青少年交流プラザ・青少年宿泊センターの利用及び生涯学習センターの利用を含む

プール					陸上競技場 (本陸・北陸 レク広場)	ラグビー (練習) 場 サッカー場	野球場	テニス コート	相撲場	会議室 研修施設等 ※4	
屋内			屋外	プール 計							
温水プール	レインボー プール (観望・湧込み)	小計	市民プール								
114,237	61,594	175,831		175,831						64,420	総 合 体 育 館
27,374		27,374	17,917	45,291	276,921	140,262	80,750	62,568	3,160	11,785	瑞 穂 運 動 場
30,321		30,321		30,321						6,646	露 橋 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
33,682		33,682		33,682						6,642	枇 杷 島 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
										7,799	稲 永 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
57,542		57,542		57,542						4,516	北 セ ン ボ タ ー ツ セ ン タ ー
61,966		61,966		61,966						8,761	中 村 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
65,577		65,577		65,577						3,924	名 東 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
						39,591				2,154	港 サ ッ カ ー 場
40,311		40,311		40,311						432	南 陽 プ ー ル
40,002		40,002		40,002							山 プ 田 ー 西 ブ ー ル
54,606		54,606		54,606							富 プ 田 ー 北 ブ ー ル
			10,641	10,641							港 プ ー ル
			3,572	3,572							中 川 プ ー ル
			3,953	3,953							楠 プ ー ル
			4,456	4,456							富 田 プ ー ル
			5,680	5,680							山 田 プ ー ル
											黒川スポーツトレー ニングセンター
										114,481	青 少 年 交 流 プ ラ ザ
										43,593	青 少 年 宿 泊 セ ン タ ー
										69,418	中 セ 村 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										57,285	熱 セ 田 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										65,311	名 セ 東 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										87,656	千 セ 種 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										105,241	北 セ 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										68,448	中 セ 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										51,612	昭 セ 和 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										65,223	瑞 セ 穂 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										50,628	港 セ 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										76,932	南 セ 生 涯 学 習 セ ン タ ー
										73,482	西 セ 生 涯 学 習 セ ン タ ー
525,618	61,594	587,212	46,219	633,431	276,921	179,853	80,750	62,568	3,160	1,046,389	計

※5 休場について

◆総合体育館	第2競技場 天井脱落対策工事	R4.4.1～R5.3.31	◆北LLC	全館 空調設備改修工事	R4.12.15～R5.2.28
	文化施設棟 空調設備改修工事	R4.11.1～R5.3.31 (12.11～12.14 除く)	◆西LLC	体育室 照明改修工事	R5.2.1～R5.3.15
◆瑞穂運動場	陸上競技場 建て替え工事	R3.3.1～当面の間	◆昭和LLC	全館 ファンコイル更新工事	R4.10.15～R5.1.15
	野球場 照明設備改修工事	R4.11.1～R4.11.18 R4.11.21～R5.3.31	◆熱田LLC	体育室 照明改修工事	R4.8.15～R4.9.30
	北陸上競技場 公認改修工事	R4.11.14～R5.3.24 (R4.11.22.23.R5.3.21 除く)	◆交流プラザ	体育室 照明改修工事	R5.3.29～R5.3.31
	屋内プール 天井脱落対策工事	R4.9.1～R5.3.31	◆宿セン	全館 指定管理移行作業	R5.3.30～R5.4.1
	第1競技場 フローリング補修工事	R4.4.19～R4.4.21			
	第1競技場 床補修工事	R5.3.28～R5.3.31			
	テニスコート 全コート整備	R5.3.29～R5.3.31			
	トレーニング室 トレーニング機器更新	R5.3.27～R5.3.31			
◆枇杷島SC	全館 受変電設備取替工事	R4.6.1～R4.7.31			
	温水プール 受変電設備取替工事	R4.8.1～R4.8.3			
◆北SC	トレーニング室 トレーニング機器更新	R5.3.27～R5.3.31			
◆中村SC	第1競技場 天井脱落対策工事	R5.2.1～R6.3.31			
◆名東SC	第1・第2会議室 空調機更新工事	R4.12.1～R4.12.28			
◆南陽P	プール ろ過機器更新等改修工事	R5.1.4～R5.2.28			
◆山田西P	プール プールタイル張替工事	R4.5.10～R4.5.18			

ii 利用者数の推移
1 体育施設等



年 度	25	26	27	28	29	30	R01	R02	R03	R04
管理施設数（施設）	22	24	24	28	28	30	30	31	31	31
全施設総利用者数(人)	6,348,798	6,573,616	6,698,175	7,129,273	7,111,250	6,544,172	4,705,850	2,627,787	3,909,924	4,965,220
市体育館										
露橋ＳＣ	246,176	239,680	245,427	215,070	274,389	279,015	249,732	132,106	160,660	199,428
名城庭球場	71,858									
瑞穂運動場	1,462,998	1,432,995	1,407,813	1,513,577	1,456,342	1,404,393	1,267,805	521,117	702,785	865,405
南陽ブルー	94,338	89,914	95,693	98,723	98,531	100,892	97,307	67,110	80,092	73,880
枇杷島ＳＣ	278,846	284,855	290,481	311,457	330,825	323,553	170,542	165,514	222,362	224,854
総合体育館	2,000,564	2,052,783	2,103,631	2,249,287	2,244,408	1,966,680	581,121	370,147	1,029,154	1,462,164
武豊野外活動Ｃ	70,685									
稲永ＳＣ	223,834	234,752	229,893	262,382	228,337	149,063	235,186	102,781	154,859	199,017
富田北ブルー	98,185	95,428	95,042	93,815	92,914	68,377	0	45,843	67,055	73,739
天白ＳＣ										
緑ＳＣ										
北ＳＣ	237,241	238,562	241,414	255,151	255,337	250,285	237,316	148,970	116,648	206,512
山田西ブルー	46,039	40,378	46,900	50,860	46,385	46,420	42,890	33,333	41,876	40,002
港サッカー場	43,207	36,144	47,946	47,190	37,077	37,696	44,002	13,960	30,688	41,745
香流橋ブルー										
中村ＳＣ	339,472	347,163	333,092	359,557	350,561	362,726	365,759	167,711	231,261	276,308
熱田ブルー	11,287	8,780	10,723							
黒川トレセン	98,602	104,012	109,055	112,836	106,712	116,055	102,748	66,512	86,397	96,241
名東ＳＣ	288,557	267,997	297,181	321,573	315,922	325,212	298,105	159,326	211,007	248,313
楠ブルー	4,996	4,019	4,725	4,351	4,039	4,605	4,466	5,481	5,465	3,953
千種ＳＣ	365,460	357,953	373,007							
山田ブルー						5,299	5,578	7,099	6,945	5,680
富田ブルー				6,427	5,595	4,937	5,210	4,967	4,716	4,456
中ＳＣ	255,590	265,313	276,650	294,034	297,385					
東ＳＣ										
名東ブルー										
振甫ブルー										
稲葉地ブルー										
港ブルー	17,019	12,503	15,421	15,102	13,620	12,199	11,850	10,142	10,432	10,641
青少年宿泊センター	88,046	90,408	82,664	84,961	87,619	87,727	88,601	28,608	33,710	43,593
中川ブルー	5,798	4,603	5,402	4,960	4,151	3,800	4,051	3,362	3,339	3,572
青少年交流プラザ	青少年交流プラザ	131,102	141,585	139,175	143,683	146,129	138,211	64,305	23,365	114,481
	中村生涯学習センター	89,758	92,119	84,355	90,318	93,096	73,707	42,093	57,455	69,418
	熱田生涯学習センター	63,400	69,242	48,039	70,596	68,774	63,398	40,846	53,801	57,285
	名東生涯学習センター	81,114	83,069	83,510	88,482	85,609	78,077	42,487	58,434	65,311
	千種生涯学習センター			97,225	94,744	97,720	88,017	58,431	68,322	87,656
	北生涯学習センター			115,511	117,866	112,730	101,179	65,165	109,855	105,241
	中生涯学習センター			84,055	84,536	83,459	74,834	42,344	55,409	68,448
	昭和生涯学習センター			85,451	82,981	81,577	74,011	46,516	54,601	51,612
	瑞穂生涯学習センター			90,639	87,895	90,607	75,664	41,592	57,115	65,223
	港生涯学習センター					50,142	50,229	30,469	41,369	50,628
	南生涯学習センター					85,395	76,254	50,505	63,800	76,932
						西生涯学習センター	48,945	66,947	73,482	

※28年度より自主開館分の利用者数を含む

要 覧 2023

発行年月：令和5年10月発行

発 行：公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会

〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16

TEL (052) 614-7500 (代)

FAX (052) 614-7525

URL <https://www.nespa.or.jp/>

発行部数：250部 年刊 無料 特定

印刷製本：株式会社マルワ



Nagoya city Education and
SPorts Association



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
子育て支援企業の認定事業者です。



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
プライバシーマークの認定事業者です。

